宮崎スポ協

VOL.222
令和５年３月発行
公益財団法人宮崎県スポーツ協会

～ Let's enjoy ひなスポ！～

総合優勝：カヌー競技

総合優勝：ボクシング競技

近的第1位：弓道競技成年男子

特集　2020東京五輪編

特集　2020東京パラ編

3年ぶりに開催された国民体育大会結団壮行式（宮崎県体育館）

がんばるぞ！三唱

決意表明

団旗授与

CONTENTS

- 巻頭言　「がんばろう！MIYAZAKI」
- 巻頭特集１　藤本新専務理事インタビュー
- 巻頭特集２　2020東京オリンピック特集
- 巻頭特集３　2020東京パラリンピック特集
- 国民体育大会・九州ブロック大会報告
- みやざき県民総合スポーツ祭報告
- 宮崎チャレンジマッチ「陸上競技」報告
- 宮崎県スポーツ少年団の活動について
- 宮崎県総合型地域スポーツクラブの現状について
- 世界へはばたけ！宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト
- スポーツ医・科学委員会便り
- 公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰
- 日本スポーツ少年団・宮崎県スポーツ少年団指導者・単位団表彰
- 本県スポーツ界における暴力行為等の根絶に向けた取組
- 宮崎県競技力向上対策本部事業に関すること
- 令和４年度事業報告
- 令和４年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員
- 令和４年度賛助会員
- 令和４年度協賛広告
- チームみやざき応援グッズ
- 編集後記

―目　次―

1　巻頭言　公益財団法人宮崎県スポーツ協会　会長　春山　豪志 …… 1
「がんばろう！MIYAZAKI」
2　巻頭特集１　公益財団法人宮崎県スポーツ協会　専務理事　藤本　格 …… 2
3　巻頭特集２　２０２０東京オリンピック･パラリンピック特集
「東京オリンピックを振り返って」東レアローズ　李博（日向学院高校出身）… ３～４
4　巻頭特集３　２０２０東京オリンピック･パラリンピック特集
「障がい者スポーツの今後の普及（展望）について」
日本知的障がい者陸上競技連盟　ハイパフォーマンスディレクター
日本パラ陸上競技連盟　常務理事　奥松　美恵子 …… ５～６
5　国民体育大会･九州ブロック大会報告 …… ７～１０
6　みやざき県民総合スポーツ祭報告 …… １１
7　宮崎チャレンジマッチ「陸上競技」報告 …… １２～１５
8　宮崎県スポーツ少年団の活動について …… １６
9　宮崎県総合型地域スポーツクラブの現状について …… １７
10　特集「宮崎県の総合型地域スポーツクラブの現状について」
宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
会長　金川敏洋【（一社）串間スポーツクラブ理事長】 …… １８～１９
11　世界へはばたけ！宮崎ワールドアスリート発掘･育成プロジェクト …… ２０～２２
12　スポーツ医･科学委員会便り
･スポーツ医･科学の研究Ⅰ「スポーツバイオメカニクスの競技への活用」
九州産業大学　人間科学部　教授　増村　雅尚 …… ２３
･スポーツ医･科学の研究Ⅱ「スポーツ選手を支える」～アスレティックトレーナーの活動を通して～
フィジカルケア宮崎　常盤　直孝 …… ２４
13　公益財団法人宮崎県スポーツ協会表彰 …… ２５～２８
14　日本スポーツ少年団･宮崎県スポーツ少年団指導者･単位団表彰 …… ２９
15　本県スポーツ界における暴力行為等の根絶に向けた取組
「暴言･暴力の根絶のために何ができるか。」
明治大学　政治経済学部　教授　高峰　修 …… ３０
16　宮崎県競技力向上対策本部事業に関すること …… ３１
17　令和４年度事業報告 …… ３２～３３
18　令和４年度公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員 …… ３４
19　令和４年度賛助会員 …… ３５
20　令和４年度協賛広告 …… ３６～５４
21　チームみやざき応援グッズ …… ５５
22　編集後記

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
会長　春山　豪志

巻頭言

「がんばろう！MIYAZAKI」

スポーツを愛好される、また、支えてくださる皆様等、本県のスポーツに関係される全ての皆様におかれましては、日頃から本県スポーツの普及・振興、競技力向上等に御尽力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、２０２２年は、世界、国内情勢等も様々な問題があり、『平和の尊さ』、『スポーツを安心して安全に楽しめる環境の有り難さ』を考えさせられることが多くありました。

又、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は、社会全体にいまだ多くの影響を及ぼしてはいますが、昨年は3年ぶりに、栃木県で国民体育大会が行われるなど、新しい生活様式の中で、スポーツ活動も以前の状況に戻りつつあることを実感もいたしました。

本県では、プロ野球で、２６年ぶりに日本一となったオリックス・バッファローズの優勝パレードが、１月３１日にキャンプ地「宮崎市」において開催されました。パレード当日には、沿道に約３万人もの人が集まったと発表され、高千穂通りが盛り上がりを見せ、大きな活力をいただきました。また、世界一となったWBCワールドベースボールクラッシックでは、本県関係者の山本由伸、戸郷翔征両投手が代表に選出され、２月の宮崎合宿では全国各地から大勢のファンが詰めかけ宮崎の魅力を大いに発信できたと感じております。

長引くコロナ禍や昨年９月の台風１４号での甚大な被害等、本県は難局に直面していると言われますが、「がんばろう！MIYAZAKI」を合言葉に、屋外型トレーニングセンターや国スポ・障スポ関連施設の活用等により、今後とも「スポーツランドみやざき」の更なる飛躍を目指すとともに、「県民が元気にスポーツを楽しむ姿」が、この難局からの復興の象徴となるよう、本県スポーツを盛り上げて参りたいと考えております。

今後とも皆様の一層のお力添えをお願い申し上げ、巻頭言とさせていただきます。

巻頭特集1

「公益財団法人宮崎県スポーツ協会
藤本　格（ふじもと　いたる）
新専務理事インタビュー」

1　２０２７宮崎国スポ・障スポに向けて（競技力向上）

競技力の向上を図るには、ジュニア期からの選手の発掘・育成・強化が不可欠です。７年前から始めた「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト（WAP）」では、修了生が全国大会や国際大会で活躍しています。また、成年選手、女子選手の支援体制やスポーツ医科学的なサポートも進んでおり、練習環境の整備・充実と併せて条件が整いつつあります。

今後は、指導者の養成や資質向上を図りながら、個のマンパワーを「チームみやざき」として繋げまとめることで、より大きな力にしたいと思います。

2　県民全体のスポーツ活動について（生涯スポーツ的視点）

本協会は、スポーツの振興による県民の健康づくりも目標に掲げています。温暖な気候や恵まれた自然、施設の充実などの快適なスポーツ環境の中で、「する」「みる」「支える」などそれぞれの立場で競技や大会等に関わりながら、心身共に健康を維持・増進してほしいと思います。さらに、障がい者に対する理解や交流の機会を通じて、共生社会の実現につながるスポーツ活動となることを願っています。

3　小中高生のスポーツ活動について（部活動改革の視点）

中学校部活動の地域移行は、日本スポーツの大きな転換期を示唆したものですが、学校現場や関係者には大きな混乱が広がっています。そこには多くの課題が山積し、未だ解決の糸口が見えないのが現状です。しかし、大切なのは「選手ファースト」の観点です。次代を担う子どもたちを、宮崎の特色を生かしながらどのように育てていくのか。今こそ、小中高と地域の一貫指導体制を確立するチャンスと捉えることができるのではないかと考えます。

4　宮崎のスポーツ界の展望について

本協会や各競技団体のガバナンス、コンプライアンスの問題を注視しています。指導者やアスリートを育てる環境を見直し、2027国スポ・障スポ後の10年、20年先を見据えた発展こそが成功と言えると思います。さらに、「スポーツランドみやざき」の全県化・通年化・多種目化や、観光とつなげた「スポーツツーリズム」の推進も必要です。宮崎で育ったアスリートが世界で活躍し、大会参加や指導者として帰県することで、地域が活性化し新たな人材が育つ。宮崎県は、スポーツの普及と発展に貢献している「スポーツの聖地」でありたいと思います。

5　今後の抱負

専務理事に就任して９ヶ月、様々な関係者の皆様と接する中で宮崎の素晴らしさが改めて解りました。その反面、多くの課題も見えてきました。それらと真摯に向き合いながら、県スポーツ界の発展に少しでも寄与できればと考えています。

今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

巻頭特集2
2020東京オリンピック・パラリンピック特集

『東京オリンピックを振り返って』　東レアローズ　李　博

【東京オリンピックを振り返って】

まず、この最高の舞台で金メダルをかけて試合ができたことをとても誇りに思います。

率直にオリンピックと他の大会を比較するとチーム一人一人の目の色、挑む姿勢が全然違いました。一球、一セット、一点にかける思いが人生をかけて戦っているのだと伝わるくらいすごいものがあり、一点の簡単なミスが命取りになるほどでした。

私がとても印象深かったのは、勝敗に関わらず涙を流して仲間と称えあう姿、そして試合後コート上でお互いのチームがお互いを拍手したりハグしたりと心からリスペクトする姿です。

勝敗にかかわらず涙を流して仲間と称えあう姿に関しては、これほどの感情が自然と出るくらい覚悟をもって戦っているのがオリンピックなのだと改めて感じました。これは、オリンピックの中だけではなく、ここに来るまでの練習量や道のり、どれだけの思いを背負ってどれだけの覚悟を持って毎日を生き、このオリンピックを迎えたのかこの涙がすべてを表していると思います。

今でも印象深く残っている昔の記憶があるのですが、２０１６年にオリンピックで優勝したブラジル男子が表彰式でみんなが涙を流しながら国歌斉唱しているのを見た時です。この涙を見てオリンピックは自分の人生をかけるだけの大きな価値があるのだと感じることができ、このステージに自分もいつか立ってみたいなと思うようになりました。そして、このステージに立つことができた自分は本当に幸せ者ですし、この舞台で体感として得られたことは素晴らしい財産で、自分の今後の糧にしていかなければいけないし、伝えていかないといけないと思っています。

試合後にお互いがお互いを称えあう姿にも胸がグッとくるものがありました。一番印象的だったことはポーランドとの試合後です。ポーランドの選手達が近寄ってきて「本当にナイスゲームだった」と長い時間拍手をし続けてくれました。その後ポーランドの監督が代表して「本当に素晴らしいゲームだった、あなたたちにリスペクトを送ります。」と言って頂きました。ここまで来ている人たちは皆さん素晴らしいスポーツマンシップをもっているなと感じましたし、自分たちが上位チームに認められたことはとても自信になりました。

話は変わりますが、自分自身バレーボールを辞めなくて本当に良かったと思っています。自分の何を一番誇りに思えるかを答えるなら間違いなくこの年齢までバレーボールを辞めなかったことです。順風満帆でここまで来たわけではなく、ここまで来た中で何度も挫折してバレーボールを辞めようと考えた事もあります。続けてこられたのは、私に関わって頂いた全ての皆さんの応援があり、支えのおかげです。とても感謝しております。

※写真は、本人提供による。

【現在の活動状況】

現在私は、静岡県三島市にある東レアローズでプレーしています。

東レアローズ男子バレーボール部は、１９４７年東レ(株)滋賀事業場に「東レ九鱗会」として創部しました。その後、１９５５年以降数々の全日本タイトルを獲得し、バレーボール界での地位を築き、１９６４年に現在の三島工場に移転しました。１１回Vリーグでは悲願の「初優勝」を飾り、２００８／０９V・プレミアリーグでは、「男女アベック優勝」という快挙を成し遂げました。

東レアローズというチームネームは「矢のような鋭さ」という意味が込められています。今は、2022-23V.LEAGUE DIVISION1 MEN（１０チーム）に所属しており、毎週全国に行って試合を行っています。

宮崎で試合を行う時は、ぜひ会場に足を運んでいただき応援よろしくお願いいたします。

【2027年宮崎国スポ・障スポに向けて】

2027年に開催される国内最大のスポーツの祭典、第81回国民スポーツ大会、第26回障害者スポーツ大会がここ宮崎で行われます。

自分自身も宮崎県代表として力になれるのであれば一緒に盛り上げていきたいなと考えております。

皆さんの熱い応援よろしくお願いします。

※写真は、本人提供による。

巻頭特集3
2020東京オリンピック・パラリンピック特集

「障がい者スポーツの今後の普及（展望）について」

日本知的障がい者陸上競技連盟　ハイパフォーマンスディレクター
日本パラ陸上競技連盟　常務理事　奥松　美恵子

Q.パラリンピックで奥松先生が関わった競技についてお教えください。

2016リオパラリンピック、2020東京パラリンピックの陸上競技（主に知的障がいT20）のコーチとして2回、参加させていただきました。リオ大会では、1500m女子担当で、直前合宿では、宮崎県で男子高校生を練習パートナーとして協力いただき、6位、7位の入賞を果たしました。2020東京パラでは、400m、1500m女子及び女子陸上競技全般のサポートをしました。T20の選手は8名中7名が入賞を果たしました。

Q.東京パラリンピックでの思い出やエピソードを教えてください。

リオパラリンピックの時は、競技場が満員で、いつもスタンドでウエーブができ、選手、スタンドが一体となって盛り上がっていました。今回はあの大きな国立競技場が無観客で、残念でしたが、バスで移動する時、選手村や競技場付近で日本人の方々が横断幕など朝夜関係なくバスに向かって応援して下さる姿を見て心がジーンとしました。試合はほとんど夜セッションで、選手村に戻るのは11時を過ぎていました。最終日は、マラソンでしたので、朝3時には選手村を出発し、給水場所に移動しました。また、選手村の生活は、予算的に厳しく、テレビをレンタルする事も厳しかったので、テレビなしの生活、パラ射撃の選手、コーチと同部屋の4人生活を過ごしました。

Q.知的障がいの指導で、やりがいや指導の難しさを教えてください。

全ての合宿、遠征は選手と同部屋で、生活支援からすべて日常を共に過ごします。指導者と選手は「鏡」だと思っています。指導者が怒っていれば伝染するし、楽しくやれば選手にも伝わります。しかし、ここで集中しなければならない時をどう伝えるか？難しさでもあり、やりがいでもあります。明確な目標と、メニューの目的をどう伝えて、やる気を持たせるか？今日は成功しても、明日も同じ方法で大丈夫か？と言えばそれは違う。選手の気持ちは、いつも純粋で日々指導者として試されていると感じます。

Q.コーチになったきっかけやパラ陸上についてもう少しお教えください。

みやざき中央支援学校時代、部活動生の岩切麻衣選手が強化指定選手になって宮崎から世界大会に出場し、帯同したことナショナルコーチになったきっかけです。リオでは岩切選手は出場できませんでしたが、外山愛美選手が東京に出場しました。

※写真は、本人提供による。

Q.ハイパフォーマンスディレクターとしての役割は、どのような仕事がありますか？

海外の強豪国では既に、ハイパフォーマンスディレクター（HP）のポジションがあり、今年度からオリ・パラの各競技団体に1名配属されました。役割は、「強化」「育成」「発掘」「普及」等を大きな柱とし、各ポジション間の連携を図っていきます。今まで、強化責任者はメダル獲得のための強化が主な仕事でしたが、単に金メダルにこだわるのではなく、継続的なメダル獲得、普及や指導者育成、発掘もとても重要です。今年度、私は全国にいる強化指定選手の地元に訪れ、職場と練習場所を巡回をしている最中です。当初は、全国にパラ陸上の種まき巡回と思っていましたが、選手の元を訪れるたびに、パラリンピックへの夢や想い、課題を聞くたびに、種をまくどころか、地元の「宝」を預かっている気持ちに代わり、選手を大切にしなければと改めて感じるようになりました。

Q.パリパラリンピックがありますが、今後指導者としての方向性についてお教えください。

東京パラが終わった瞬間から、パリがスタートしました。2022年は海外遠征も再開しました。今回は期間が短く、何としてもT20の選手のメダル獲得は必須です。併せて、ロスパラリンピックの準備（選手育成）もスタート。指導者は、ただ教えることが上手だけでなく、公正さ、平等性等インティグリティが大変重要になってきています。また、選手は地元を中心に練習活動を行っており、必ずパーソナルコーチ（地元コーチや保護者）とのコミュニケーションは大変重要な部分です。オンライン会議、巡回指導、大会サポート、多岐の中でかかわりがあり、その中で、指導者が「教えてやっている」と思っている間は成長がないと感じています。「指導とは、持っている力を引き出すことである。」と学んだ事があります。指導者も常に学びの場であると感じていれば、指導の「やりがい」が生まれてくると思っています。

Q.2027年に開催予定の二巡目宮崎国スポ・障スポへの想いをお教えください。

2023年度から知的陸上連盟とパラ陸上連盟は統合し、日本パラ陸上競技連盟となります。視覚、肢体不自由、知的だけでなく、多様な障がい種の選手がいます。また、デフリンピック（聴覚）の選手も含め、障がいのあるなしに関わらず、今年3月に東京駒沢競技場で、「オール陸上記録会」を実施し、スポーツ庁の室伏長官も見学に来られました。しかし、宮崎県では、14年前から宮崎チャレンジ記録会を実施しており、全国ダウン症アスリート記録会の開催を宮崎県で３年連続（2023年10月日南市で実施予定）開催予定です。宮崎県が一体となり、選手強化に熱が入りますが、大会後その熱が冷めることがないよう、国スポ・障スポ強化（育成・普及）が20年後も継続している県であってほしいです。

Q.最後に、何か県民の皆さんへメッセージをお願いします。

宮崎県の「人の良さ」は、宝だと感じています。以前、県高校総体で、水泳、柔道、バスケットボール、陸上競技で特別支援学校の生徒を各競技団体が受け入れてくださいました。これが特別なことではなく、当たり前になってほしい。障がいのある人がスポーツをする時、大変な部分もありますが、ルールや環境の工夫で共に戦えます。ぜひ、パラスポーツにも足を運んで応援や、体験をしてみてください。

※写真は、本人提供による。

いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会　夢を感動へ。感動を未来へ。2022

☆天皇杯３２位（男女総合得点）皇后杯31位（女子総合得点537.5点）

季別男女総合

冬季大会３４位　３０点

本大会２８位　８０４.５点　累計８３４.５点

季別女子総合

冬季大会３０位　２０点

本大会２６位　５１７.５点　累計５３７.５点

競技別男女総合

競技別男女総合

１位　カヌー競技
１位　ボクシング競技
６位　柔道競技
７位　剣道競技
８位　ホッケー競技
８位　弓道競技

競技別女子総合

１位　カヌー競技
４位　自転車競技
６位　ホッケー競技
８位　バスケットボール競技

カヌー競技・ボクシング競技ともに初の天皇杯総合順位１位！！

カヌー競技

ボクシング競技

レスリング競技
少年男子 石山竜成選手（都城西高校）５位入賞

ライフル射撃競技
成年女子 西村彩希選手（ＭＲＴ宮崎放送）５位入賞

自転車競技　女子
左・岩元美佳選手（鹿屋体育大学）、
中央・岩元杏奈選手（日本体育大学）、右・年見穂風選手（鹿屋体育大学）

弓道競技
成年男子（宮崎選抜）矢野選手・丸山選手・後藤選手・近的１位

ホッケー競技
少年女子（高鍋高校）４位入賞

ウエイトリフティング競技
女子 宮越由依選手（金沢学院大学）８位入賞

バドミントン競技
少年女子（宮崎選抜）武末選手・山内選手・牧野選手 ５位入賞

水泳競技
少年女子Ｂ秋高選手・金納選手 ６位入賞

第７７回国民体育大会　結団壮行式（決団報告）

河野俊嗣　宮崎県知事　挨拶

現地結団式

旗手　飛松 杏奈選手（テニス競技、少年女子）

バスケットボール競技少年男女 九州ブロック突破

８月２６日より熊本県にて開催された九州ブロック大会に出場し、少年男女ともに九州ブロックを突破することができ栃木本国体への出場権を獲得することができた。男女ともに複数校から選手を選出している混成チームである。そのことから、お互いライバル関係でありながらも国体期間においては宮崎県のためにと考え方の共有をして取り組んでいる。その中でも男女共に日本一を目指すという想いを深めることができる背景に「チーム宮崎合同合宿」がある。これは成年男女、少年男女が同日程で同会場に集まり合宿を行うものである。宮崎県バスケットボール協会より様々な支援もいただきながら、全種別で気持ちを１つに頑張ろうと思える時間を過ごしている。宮崎県内の中学校が九州中学を突破し全中に出場する年にはこのチーム宮崎合同合宿に中学生も参加し、成年の姿や高校生の国体選手のプレーを見ながら「いつかは自分たちも」と思えるような場にもなっている。今年度は都城の早水体育文化センターで実施した。メインアリーナでは、少年男女が大きな声を出しながらブロック突破、本国体優勝を目指して活動することができた。お互いが見える場所で活動していることもお互い負けたくないというモチベーションの１つになり、少年らしい良い雰囲気と少しピリつく良い緊張感が融合するような２日間の合宿を終えることができた。九州ブロック大会ではその成果もあり、少年男女ともに本国体出場、日本一への挑戦権を得ることができた。この舞台に立ち、本気で日本一を目指して活動することで結果だけではなく見える景色が変わってくる。見えるものが変われば思考が大人になり、より良い行動ができる。その取り組みが自分たちの人生をも変える。そして本国体が終了すればそれぞれ自チームに戻り、パワーアップした選手たちが各チームを強くして、国体というもの自体の良さが波紋を広げる。そのような活動にしていきたいと男女で頑張ってきたことを栃木本国体の舞台で精一杯少年男女らしく表現していきたい。県スポーツ協会をはじめ様々な方々に支援、応援していただき感謝しております。

少年女子監督　橘　裕

令和４年度 みやざき県民総合スポーツ祭

１　期　日

【メイン開催】　令和４年　６月　４日(土)　５日(日)
【事前・事後開催】　令和４年　５月２８日(土)２９日(日)
６月１１日(土)１２日(日)　１９日(日)　２６日(日)
７月　３日(日)１０日(日)　１６日(土)　１７日(日)
８月　７日(日)２８日(日)
９月１４日(水)　　計　１５日間

２　会　場

（１）総合開会式　　ひなた木の花ドーム
（２）競　　技　　県内８市６町６１会場
（宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、三股町、国富町、綾町、高鍋町、新富町、木城町）

３　本大会の状況

（１）参加者数

	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
参加者総数	10,959 名	5,117 名	1,452 名	16,290 名
（前年比）	（＋5,842 名）	（＋3,665 名）	（－14,838名）	（－14 名）
選手団	8,409 名	4,222 名	1,061 名	11,525 名
式典関係	528 名	0 名	0 名	1,715 名
本部・競技役員	1,894 名	774 名	391 名	2,919 名
実行委員	128 名	121 名	0 名	131 名

（２）総合開会式
①【プラカード等保持】各市郡代表者１名
②【アトラクション】なし
③【選手宣誓】北諸県郡体育協会　野口　正幸　選手（ソフトボール競技）
④【県教育長表彰】生涯スポーツ功労賞(個人５)、生涯スポーツ優良団体(団体４)
⑤【県スポーツ協会表彰】スポーツ功労賞(個人２２・団体２)
スポーツ優秀賞(個人１７)、スポーツ奨励賞(４)

（３）競　技
①　実施競技数　５５競技（全５９競技）
②　大会新記録　陸上競技５個、水泳競技９個

第12回宮崎チャレンジマッチ「陸上競技」の報告

宮崎チャレンジマッチ実行委員会

第１２回宮崎チャレンジマッチ「陸上競技」がMRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・宮崎県教育委員会・宮崎県スポーツ協会の主催で７月１７日（日）、ひなた宮崎県総合運動公園陸上競技場にて開催された。全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により、本県においても医療緊急警報が発令される中、様々な感染対策を講じ有観客で開催する運びとなった。

今大会が初の個人種目での開催となった為、県外招待選手の選考に苦慮したが、全国高校総体５回の総合優勝を誇る愛知県の中京大学附属中京高等学校をはじめ、大阪府立大塚高等学校、そして九州各県から全国トップクラスの高校生アスリート総勢５１名（男子２４名、女子２７名）を迎え、本県選抜選手４７名（男子２４名、女子２３名）が１６種目の競技でチャレンジマッチを実施した。

男子ではトラック競技５種目中、３種目を中京大学附属中京高等学校の選手が優勝し、全国トップクラスの実力を発揮した。そんな中、本県勢では、１１０ｍハードルの堀田祐平選手（宮崎南高３年）が予選で１４秒３８の自己新記録を出すなど好調ぶりを発揮し、決勝でも他を圧倒して優勝した。また、フィールド競技では、本県注目の走高跳、原口颯太選手（宮崎農業高３年）はケガの影響で万全な状態ではない中での出場となったが、２ｍ０３ｃｍを軽々とクリアし、県高校新記録の２ｍ１１ｃｍに挑戦。惜しくも失敗となったが、果敢にチャレンジする姿に会場が沸いた。

女子はトラック競技５種目全てを中京大学附属中京高等学校の選手が優勝。フィールド競技では、走幅跳で坂木海優選手（宮崎商業高３年）が５ｍ５２ｃｍで優勝。走高跳で鎌田華子選手（都城泉ヶ丘高３年）が１ｍ７０ｃｍで優勝。両選手とも自己新記録を達成するなど本県勢も躍動した。

各種大会が毎週入っており、タイトなスケジュールの中で県外招待選手を迎えての本大会開催となったが、県外招待選手は実力どおり全国トップレベルのパフォーマンスを発揮し、インターハイ・国民体育大会を控えた本県選手にとって、現時点での自分の力を知ることができ、とても実りのある大会となった。

また、今大会に参加した選手や補助員、交流記録会に参加した小学生、観戦したターゲットエイジの子どもたちが、今大会を通じて大きな刺激を受け、５年後の２巡目国スポ・障スポの少年・成年の主力選手として活躍してくれることを期待したい。

最後に、今大会の開催にあたり、ご支援頂いた協賛各社等の皆様、選手選考から大会の準備・運営に御尽力下さった一般財団法人宮崎陸上競技協会、そして多くの県民の皆様に心から感謝申し上げたい。

【男子　結果一覧】

	1位		2位		3位	
１００m +0.3	田邊　隼門（３） 中京大中京	10” 63	倉澤　幹拡（２） ｱｽﾚｯﾁｸ宮崎	10” 65	渡邉　瑛斗（３） 大塚	10” 73
４００m	林　申雅（３） 大塚	47” 29	山本　達春（３） 宮崎大宮	48” 07	坂元　龍晟（２） 鹿児島南	48” 98
８００m	山田　直希（３） 中京大中京	1’ 50” 13	坂元　龍晟（２） 鹿児島南	1’ 50” 92	萬野　七樹（３） 大塚	1’ 51” 49
１１０mH +0.0	堀田　祐平（３） 宮崎南	14” 48	横山　将也（２） 中京大中京	14” 66	西ヶ野聖太（２） 宮崎工業	15” 00
４×100mR	中京大中京	40” 30	大塚	40” 90	鹿児島南	41” 29
走高跳	原口　颯太（３） 宮崎農業	2m03	伊藤　瀬奈（３） 大塚	2m00		
走幅跳	太田　芳栄（３） 鹿児島南	6m85 +0.8	三森咲大朗（１） 宮崎工業	6m80 +0.3	笹岡　海月（３） 宮崎工業	6m73 -0.4
やり投	薬師寺　新（３） 大分雄城台	63m71	竹下　蕉（３） 三潴	57m49	田上　文哉（３） 高千穂	55m15

【女子　結果一覧】

	1位		2位		3位	
１００m -0.3	蔵重　みう（３） 中京大中京	11” 83	山形　愛羽（２） 熊本中央	12” 08	中富　優依（２） 延岡	12” 27
４００m	平野　里歩（２） 中京大中京	55” 46	明日山結月（３） 中村学園女子	57” 24	田中　美羽（２） 大塚	57” 25
８００m	平野　里歩（２） 中京大中京	2’ 09” 02	塩原　希梨（３） 大塚	2’ 09” 41	田中　那奈（３） 小林	2’ 09” 74
１００mH -0.3	林　美希（２） 中京大中京	13” 75	片山　心菜（２） 中京大中京	14” 09	有川　実花（２） 鹿児島南	14” 12
４×100mR	中京大中京	45” 98	中村学園女子	46” 48	宮崎北	47” 61
走高跳	鎌田　華子（３） 都城泉ヶ丘	1m70	那須　美咲（３） 宮崎商業	1m64	山田　芽依（３） 中村学園女子	1m64
走幅跳	坂木　海優（３） 宮崎商業	5m52 +1.6	吉岡　音衣（３） 中村学園女子	5m43 +0.8	兒玉　和愛（２） 宮崎南	5m32 +0.3
やり投	山川さくら（３） 中村学園女子	43m18	藤田　花（２） 都城商業	42m39	古川　楓奈（３） 宮崎工業	41m19

【協賛各社の紹介】

【開会セレモニー①　春山会長挨拶】

【開会セレモニー②】

【開会セレモニー③　協賛品贈呈】

【開会セレモニー④　協賛品贈呈】

【開会セレモニー④　記念品贈呈】

【チャレンジマッチ①】

【チャレンジマッチ②】

【チャレンジマッチ③】

【チャレンジマッチ④】

【チャレンジマッチ⑤】

【チャレンジマッチ⑥】

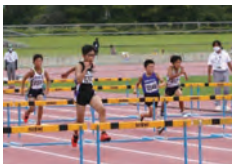
【チャレンジマッチ⑦】

【チャレンジマッチ⑧】

【チャレンジマッチ⑨】

【チャレンジマッチ⑩】

【チャレンジマッチ⑪】



【小学生交流記録会の様子】

【閉会セレモニー①　優勝選手インタビュー】

【閉会セレモニー②　競技団体代表挨拶】

スポーツを通じて、青少年の健全な成長をサポートするために

スポーツ少年団の育成

➡青少年の“こころ”と“からだ”を育む幅広い活動

日本スポーツ少年団は「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを！」「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に！」との願いのもとに、東京オリンピック(1964)に先立ち、「オリンピック青少年運動」の一貫として、昭和37(1962)年に「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設された国内最大規模の青少年スポーツ組織です。宮崎県は、令和４年度702単位スポーツ少年団が登録されており、14654名の団員、指導者等が地域の中で活動しています。

スポーツ活動にとどまらず、青少年の国内・国際交流、地域で広く活躍するリーダーの育成、さらには“地域づくり”のキーワードを掲げた地域貢献など、幅広い活動を行っています。

➡地域で広く活躍できるリーダーを育成

スポーツ少年団では、団や地域の中で先頭に立って活動するジュニア・リーダー、シニア・リーダーの育成を行っています。リーダーは活動の中で指導者と協力して団員をまとめる役割や地域活動の企画・運営に取り組んでいます。

リーダー育成を通じて、団や地域の活動に貢献することはもちろん、将来、地域でのスポーツ活動の中心となる担い手を育てています。

名　称	ジュニア・リーダー	シニア・リーダー
対　象	スポーツ少年団登録団員で、小学５年生～中学生までの者	スポーツ少年団団員で、義務教育を修了した20歳未満のジュニア・リーダー資格認定者またはそれに準ずる者
役　割	単位団において団員の模範となって活動する	単位団及びリーダー会において模範となって活動する
取得方法	宮崎県スポーツ少年団が開催するジュニア・リーダースクールを修了する（毎年９月上旬に開催）	日本スポーツ少年団が開催するシニア・リーダースクール（宿泊研修、通信研修）を修了する
有効期限	スポーツ少年団に登録している限り有効	スポーツ少年団に登録している限り有効
指導者資格への移行	なし	〈令和２年度以降認定者〉 18歳以上かつ資格の認定から４年以内に宮崎県スポーツ少年団が推薦し、日本スポーツ少年団が認めた者は「JSPO公認スタートコーチ（スポーツ少年団）」の資格に移行できる 〈令和元年度以前認定者〉 満20以上で令和５年度までに宮崎県スポーツ少年団が推薦し、日本スポーツ少年団が認めた者は、「JSPO公認コーチングアシスタント」の資格に移行できる

➡スポーツを通じた学びと成長を支援

スポーツ少年団では、スポーツ活動や大会のほかにも、全国の仲間とさまざまな活動を通じて学び合う国内交流やドイツ・中国との国際交流において、相互理解、多様性、グローバル感覚を養うための活動等を支援しています。また、少年団の活動に関わる指導者には、JSPO公認スポーツ指導者資格の保有を義務づけ、少年団活動が「安全に、正しく、楽しく」行われるための環境整備に取り組んでいます。

◆スポーツ少年団の主な国内・国際交流イベント

	名　称	
国内交流	全国スポーツ少年大会	
	競技別交流大会	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
		全国スポーツ少年団剣道交流大会
		全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
国際交流	日独スポーツ少年団同時交流（派遣・受入）	
	日独スポーツ少年団指導者交流・日独青少年指導者セミナー（隔年で指導者交流、指導者セミナーを実施）	
	日独青少年スポーツ交流（隔年で派遣・受入を実施）	

スポーツを核とした豊かな地域コミュニティを創造するために

総合型地域スポーツクラブの育成

➡地域の誰もが自分の好きなスポーツができる環境づくり

総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）とは、「地域の人々に年齢、興味関心、技術技能などに応じたさまざまなスポーツ機会を提供する、『多世代』『多種目』『多志向』という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ」です。

日本スポーツ協会(以下・JSPO)は総合型クラブの活動や創設を支援することで、スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を目指しています。

大正琴

ヨガ

健康体操

健康教室

グラウンドゴルフ

筋力トレーニング教室

➡総合型クラブが育む地域の絆、みんなの笑顔

JSPOは、平成９年（1997）年度にスポーツ少年団を核としたクラブ育成モデル地区事業をスタートさせ、これまで数多くの総合型クラブの創設や、自立に向けた各種支援を行い、全国に3,594（令和２年(2020)年７月１日現在スポーツ庁）の総合型クラブが設立されています。

子供から高齢者まで、幅広い年代の方々が自らの興味・関心に沿って楽しく活動し、交流の輪を広げ深めています。

令和４（2022）年４月からは、総合型クラブの公益的な取り組みを促進するために、総合型クラブの登録・認証制度がスタートしました。

【宮崎県総合型登録クラブ】

NPO法人東大宮スポーツクラブ	みやざき中央スポーツクラブ	NPO法人佐土原スポーツクラブ	住吉スポーツクラブ
NPO法人MIYAZAKIうづらaiクラブ	半九レインボーSC	木の花スポーツクラブ	一般社団法人日南市スポーツクラブ
一般社団法人串間スポーツクラブ	西都スポーツクラブ	特定非営利活動法人高鍋スポーツクラブ	メラスポチャレンジクラブ
木城ドリームス	川南スポーツ合衆国	NPO法人都農enjoyスポーツクラブ	NPO法人都城ぽんちスポーツクラブ
一般社団法人とみさか	小林元気クラブ	NPO法人真幸ホットほっとクラブ	NPO法人いいの夢クラブ
NPO法人いい汗加久藤クラブ	ひのかげきらめきクラブ		

宮崎県の総合型地域スポーツクラブの現状について

宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長　金川敏洋【（一社）串間スポーツクラブ理事長】

（1）総合型クラブのターニングポイント、登録認証制度をどう生かすか。

①総合型クラブの楽しさ・魅力

総合型地域スポーツクラブ（以下総合型クラブ）とは、子供から高齢者まで（多世代）の人々が、様々な運動・スポーツ（多種目）ができ、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民が自主的・主体的に運営するスポーツクラブの事です。このように、地域との関わりを持って、誰もが運動・スポーツを楽しく出来る環境が最大の魅力ではないでしょうか。

②登録・認証制度の今後のメリットは？

登録制度が令和５年４月より実施されます。これに伴い県内32クラブある中で22クラブが登録を完了し、活動を行います。国・県・市町村が定めた条件をクリアしている事により、総合型クラブとしての運営・活動が認められ、信用性が増した事が大きいメリットであると思います。また今回登録した22クラブが自主的に登録申請を行い、総合型クラブとして取り組んだ事が一番大事なことであると思います。今後は、１つのクラブだけではできない事業や活動などを県SC連絡協議会として運営支援・活動支援を行い、それぞれの１つのクラブが今まで以上に活動しやすい環境を作って行きたいと考えています。また、同時に、県・市町村行政にも国が認めた総合型クラブであることを周知し、今まで以上に連携し県民・市町村民のために活動をしていきたいと考えています。

③地域スポーツの社会的意義とは。部活動との違いは。

地域スポーツとは、地域の方々が運動・スポーツを生涯にわたって無理なく活動することです。また、地域の方が子どもから大人まで専門的に指導したり、楽しく指導したりすることです。

運動・スポーツをすることで子供には将来に向けた可能性があり、大人には技術向上や健康増進などのメリットがあります。さらに、高齢者は健康維持する事で医療費減など見込まれるため社会的意義は大きいと思います。そのほか、運動する種目が一種目に限定されないこともメリットの一つです。

部活動は、学校教育の一環であり、教員が基本指導者です。また、競技スポーツ（大会等で上位を目指す事）に特化しています。そして、種目が限定される場合が多く、小学校からやっている競技が中学校の部活動に無い場合は、違う競技をやらざるを得ないというデメリットもあります。

④経営者目線で、総合型クラブをどのように広げていくか。

今回の登録・認証制度に伴って総合型クラブとしての意識が更に拡大し、信用性が増したと思います。今後はこの制度をうまく活用し、行政・地域住民・学校・スポーツ団体等とも連携し事業を拡大し、これまで以上に、会員数を増加させ、安定した運営ができるよう進めていきたいと考えてます。

⑤会員に対して、総合型クラブのどのようなところに魅力を感じさせるか。

イベントや教室等に参加してもらい、クラブの雰囲気や楽しさを友人・知人に伝えていこうと思います。

（2）部活動との連携の可能性

①中学校部活動・高校部活動との連携の方向性

現在、中学校に部活動種目がない競技を総合型クラブで行っており、これは継続して行っていきたいと思います。また、種目にもよりますが、部員不足などでチーム編成が出来ない部活動の合同チームの指導などの支援も行いたいと思います。

そして、各市町村で状況が違ってくると思いますが、地元の中学校の子どもたちにとって、どのような形が一番良いのか、教員の働き方改革（部活動を指導したい教員の在り方）をどうするのかを行政・学校・保護者・競技団体等と十分話し合った上で課題の解決などに積極的に関わって行きたいと思います。また、指導者育成にも力を入れ、依頼があれば質の高い指導者を派遣したいと考えております。高校の場合は、中学校の地域移行を踏まえた上で連携していきたいと考えています。また、小・中・高の一貫した指導も視野に入れていきたいと思います。

総合型地域スポーツクラブの学校部活動にないメリット

地域の指導者は変わらない点、専門の指導者が指導できる点、スポーツ活動の選択肢や競技レベルの設定が、部活動より自由度が高い点等がメリットと考えております。

(3)県内クラブ紹介

①NPO法人 うづらaiクラブ

(1)　スポーツ少年団との連携

●クラブ概要

宮崎県宮崎市佐土原町久峰中学校区に当時小学校のPTA役員、保護者を中心に、元教員・校長先生を会長にお迎えし、専門的な指導やアドバイスをいただきながら、地域に住む子どものスポーツ環境を充実させるためにクラブを立ち上げました。

●育成母集団として少年団を支援し連携

子どもに多種多様なスポーツ体験の機会を提供し、好きなスポーツに出会い、好きなことを一生懸命できる環境へつなげるという目的をもって活動を開始しました。競技によってはスポーツ少年団登録をしてます。

●少年団との連携で相乗効果、事務運営の簡素化にも着手

クラブ側と少年団の連携により、クラブが活動を広げたり、スポーツ少年団の会員登録も増えたり相乗効果が生まれました。会費等のキャッシュレス化、情報共有・情報発信面もデジタル化したことで事務局の負担軽減、オンラインでの運動などによる活動機会の拡大にも成功しました。

●今後も少年団との良好な関係を継続

総合型地域スポーツクラブをつくることが目的ではなく、地域活動を充実させ支援することが目的だと考えております。(クラブの)形をあえて明確にせずに、その時々に求められていることができるクラブでありたいと思っております。

②一般社団法人串間スポーツクラブ

○設立:平成23年2月24日　○会員数:令和4年度　約100名

○種目:キッズサッカー・Jr.サッカー・Jr.レスリング・キッズ体操・ヨガ・ランニング

○イベント:サッカーフェスティバル・レスリングフェスティバルを開催。

毎年トップアスリートレベル(日本代表選手等)を招へいしフェスティバルを開催している。サッカーでは、元なでしこジャパンの選手、レスリングでは、故山本キッド選手やリオ五輪金メダリスト土性沙羅選手。今年度は、東京五輪金メダリストで世界全階級制覇(グランドスラム)達成した須崎優衣選手を招へいしました。

【活動の様子】

○サッカーフェスティバル

元なでしこ 高良亮子選手、下川沙織選手

○レスリングフェスティバル

須崎優衣選手　　故山本キッド選手

※写真は、金川会長提供

世界へはばたけ！宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト

目　的

県内から体力･運動能力に優れた子どもたちを発掘し、２０２７年宮崎国民スポーツ大会やオリンピックなどの国際大会で活躍できる人材を育てます。

経緯･内容

平成２８年度から活動を始め、今年で７年目を迎えます。月２回、小学校５年生から中学校３年生までの５年間が育成期間で、中学校３年生で自分に最も適した競技種目を選んで高校につなぎます。これまでに１０１名の修了生を送り出しています。

令和４年度在籍数

	キッズ		ジュニア		シニア
学　年	小学５年生	小学６年生	中学１年生	中学２年生	中学３年生
学年人数	18	25	26	27	25
カテゴリー人数	43		53		25
総　計	121				

育成プログラムの内容

(1) 能力開発プログラム　① 身体的能力開発

オリンピアンやプロスポーツ選手を指導する講師から指導を受けます。

コオーディネーション

コオーディネーション

コオーディネーション

SAQトレーニング

コンディショニング

セルフケア

② 知的能力開発

アスリート食

コミュニケーション

メンタル

女性アスリート

オープンマインド

デュアルキャリア教育

スポーツインテグリティ

目標設定

ロジカルシンキング

(2) 競技種目体験プログラム

様々な競技を体験し、自分の可能性を高め、自分に合った競技をみつけます。

スポーツクライミング

ウエイトリフティング

フェンシング

ボクシング

ハンドボール

ラグビー

陸上競技

ホッケー

レスリング

自転車

ソフトボール

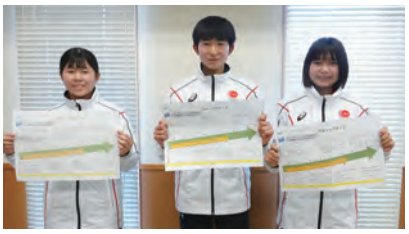
カヌー

ボート

セーリング

(3) パスウェイプログラム

中３のプログラム。高校から実施する競技種目を選択し、将来の計画を発表します。



(4) 自宅課題カリキュラム

県スポーツ協会認定トレーナーから普段のトレーニングや体づくりの指導を受けます。

(5) ファミリープログラム

保護者対象。アスリート生の親としてのメンタルや食事などについて学びます。

メンタル

アスリート食

調理実習

修了生の活躍（令和４年度の全国的な実績を抜粋しています）

大会名	競技種目	成績	大会名	競技種目	成績
四国インターハイ	カヌー女子カヤックフォア	1位	栃木国体	カヌー少年女子500mカヤックフォア	1位
	カヌー女子カヤックペア	2位		カヌー少年女子200mカヤックフォア	2位
	カヌー男子カナディアンフォア	3位		カヌー少年女子200mカヤックペア	2位
	カヌー女子カヤックシングル	6位		カヌー少年女子500mカヤックシングル	2位
	水泳男子100m自由形	1位		カヌー少年女子500mカヤックペア	3位
	水泳男子400mメドレーリレー	1位		自転車女子ケイリン	2位
	フェンシング男子個人エペ	8位		自転車女子チームスプリント	7位
				ボクシング成年男子フライ級	5位

●その他の大会

＊2022カヌースプリント（カヤックフォア・ペア）女子ジュニア海外派遣選考会１位
＊全国高校・中学ゴルフ選手権大会男子団体１位
＊フェンシングジュニア選手権大会男子サーブル２位

●代表等

＊トヨタジュニアワールドカップ（ゴルフ競技）日本代表、世界大会（日本開催）出場
＊2022カヌースプリント女子ジュニア日本代表、世界大会（ハンガリー開催）出場
＊2022カヌーオリンピックホープス女子日本代表、世界大会（スロバキア開催）出場

現アスリート生の活躍（令和４年度の九州大会以上の実績を抜粋しています）

＊陸上日本室内選手権U-16男子60m障害１位
＊2022全国中学生ラグビーフットボール大会九州予選１位、同全国大会２位
＊第20回全国都道府県対抗中学野球九州予選１位、同全国大会ベスト８

～ 事務局の紹介 ～

【所在地】
〒889-2151　宮崎市大字熊野島山1443-12
(公財)宮崎県スポーツ協会　WAP事務局
TEL 0985-58-5633　FAX 0985-58-5630

スポーツ医・科学委員会便り

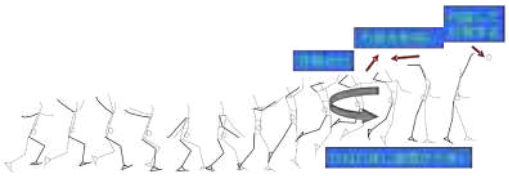
「スポーツ医・科学の研究Ⅰ」

「スポーツバイオメカニクスの競技への活用」

Profile

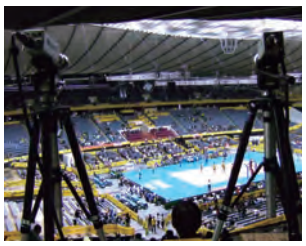
増村雅尚（ますむらまさなお）九州産業大学　人間科学部スポーツ健康科学科　教授

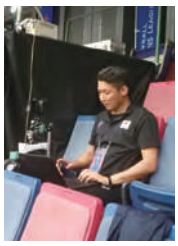
五島列島（長崎県）出身で小４からバレーボールを始める。中学校を卒業後、島を出て、長崎県立長崎北高校へ進学。卒業後は筑波大学に進み、３年生から５年間、日本代表選手として活躍する一方、スポーツバイオメカニクスを学ぶ。1999 年に大学を卒業後、富士写真フイルム株式会社に入社。V リーグの選手としてプレーしながら、筑波大学大学院で自身を被験者に動作分析を行い、効果的に身体を動かす方法を研究した。2011 年に現役を引退し、2012 年から大学教員となり、研究活動に取り組む傍ら、日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員として、日本代表をはじめ、バレーボール界全体の技術向上に向けた活動に取り組んでいる。



私はバレーボール競技における「跳ぶ」「打つ」「上げる」の基本動作に関するバイオメカニクス的研究を進め、現在は世界一流のバレーボール選手のスパイク動作を定量的に分析し、日本選手の技術向上を目指しています。

スポーツバイオメカニクスは、「スポーツ」「バイオ」（生体）「メカニクス」（力学）を組み合わせた名称の通り、力学、生理学、解剖学などの基礎知識を活用して、身体運動の仕組みをよりよく理解するための応用学です。簡単に言えば、上手に身体を動かすコツを科学する学問です。動作の計測、分析、改善、創造（シミュレーション）などを行います。例えば、国内外で活躍している一流選手の運動の様子をカメラや高速ビデオカメラなどを使って撮影します。それをスポーツバイオメカニクス的な計測手法を用いて分析します。上手な人がどのようにしてその動作を行っているのかを、物理学を使って表現できるところがスポーツバイオメカニクスの良いところです。これまでは求める姿が曖昧で、指導者（客観）や選手自身（主観）のイメージをすり合わせながら動作改善を行っていましたが、スポーツバイオメカニクスの手法を用いることにより、求める姿が明確になります。画像を見ながら違いを理解し、具体的な改善につなげることができます。





私は選手時代、「スパイクフォームが独特だね」と言われた記憶があります。スポーツバイオメカニクスを学ぶにつれて、セオリーを知らずにやっていたことが原因だったのではないかと気づきました。そもそも力任せのスパイク技術を求めてきたので、（日本代表に選出されて）上の世界を見せてもらった時に、上手にスパイクを打つ人を見てカルチャーショックを受けました。真似をしたいと思うのですが、どのように身体を使えばいいのか悩みました。そうした疑問も、今では説明がつきます。スポーツバイオメカニクスは動作の改善に留まらず、トレーニング法の開発、スポーツ用具や施設の開発、障害の原因の究明など、さまざまなことに役立つ、奥の深い学問だと思います。

私は大学で数学を学びたいと思っていました。受からなかったので体育学部に変更しましたが、数字が好き、理科が好き、謎解きが好き。その軸は外れていないのかなと思います。体育に進んだことでさまざまなスポーツを体験し、バレーボールの魅力を再確認できたこともプラスになっています。スポーツバイオメカニクスもその一つです。また、世の中には自分よりも優れた能力をもつ人がたくさんいます。自分はまだまだだな、と感じた時に何もしないであきらめてしまったら、他のことを始めても、きっとまた同じような場面に遭遇するでしょう。優れた能力をもつ人と、どうしたら肩を並べることができるだろうかと考え、その方法に従って愚直に頑張る。うまくいかなければ、つまずいている点を見つけて改善する。それを繰り返し続けていけば、自ずと力がつくと思います。考える力も伸びると思います。その考え方を教えてくれたのが「スポーツバイオメカニクス」であります。バレーボールとスポーツバイオメカニクスが私を構成する原点であり、これからも生きていく道を示すものになっています。皆さんもその出会いがあるといいですね。

スポーツ医・科学委員会便り

「スポーツ医・科学の研究Ⅱ」

「スポーツ選手を支える」
～アスレティックトレーナーの活動を通して～

フィジカルケア宮崎
常盤　直孝

アスレティックトレーナーは、スポーツ選手のけがの予防やテーピング、ケアなどを行うだけでなく、痛みがある選手に対して問題となる身体機能を改善し、スポーツ活動をスムーズに出来る手助けをします。体調管理などを通してケガを予防し、ケガのないスポーツ活動を送るだけでなく、パフォーマンスの向上や競技成績の向上にもつながる、非常に重要な役割を果たしています。

宮崎県における国体や高校野球県予選での選手のサポートは、平成13年からスタートしました。それまでの活動は、個人レベルでチームへの試合帯同や練習および合宿などでの活動もありましたが、宮崎県選手団の対応としては、当初は国体での活動が中心で、予防に向けた各競技やチームへのトレーナーの連携は、数的にも質的にも十分ではなく、大きな課題でした。

【岩手国体：剣道競技成年男子→】

国体での成績も伸び悩む中で、トレーナーの数を増やし、各競技へトレーナーを派遣する体制を構築していくことが急務であるとの認識が、徐々に広がっていきました。

このような経緯で平成２４年から宮崎県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会がスタートし、昨年末までで日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーと宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナーを合わせた数は１００名を超え、様々な競技へのアスレティックティックトレーナーの派遣が可能な状況となりました。現在は2027年に開催される宮崎国体に向けて、様々な取り組みをしています。

【茨城国体：ソフトテニス競技少年男子→】

『ケガをしない身体が勝利を生む』

現在は、1年間を通してけがなく活動できるプロスポーツ選手は数多くいます。選手の努力はもちろん、それを支えるスポーツ医学やトレーニング科学の進歩が非常に大きく影響しています。以前はけがをしたら選手生命は終わりといわれたものも、現在では復帰して大きな歴史的成果を挙げた選手もたくさんいます。復帰へのプログラムの遂行が、科学的で安全に、早期に可能になってきた上に、パフォーマンスを向上させるトレーニングが多様化してきて、選手たちの選択肢が増えてきたことも大きな要因と考えられます。一方でケガを予防する意識は、選手や指導者もまだまだ低いのが現状です。痛みが出たときは、ネガティブな思考になりがちですが、考え方によっては、**身体を作り替えるチャンス**でもあります。ケガをした際の対応で多く見られるのは、病院にもいかずに、無理をして症状を悪化させるケースです。

ケガをするのには、関節可動域や筋力など、身体の機能に何らかの問題があります。ケガとの向き合い方ひとつで、そのあとの選手生活は大きく変わります。自分の身体的特徴を認識し、弱い部分を強化してケガをしない身体つくりをすることが、勝利への近道です。ピンチをチャンスに変える！アスレティックトレーナーとともに、ケガの予防に向けたトレーニングに取り組んでいきましょう。

公益財団法人
宮崎県スポーツ協会表彰

公益財団法人宮崎県スポーツ協会スポーツ功労賞・優秀賞・奨励賞・推進賞（令和３年度）の表彰はみやざき県民スポーツ祭総合開会式で行いました。

宮崎県スポーツ協会表彰とは、多年にわたり本県体育・スポーツの普及・振興に寄与され、その功績の顕著な方をスポーツ功労者として、また、国内外のトップレベルの大会で優秀な成績を収めた方をスポーツ優秀者として、そして、国内外のトップレベルに準ずる優秀な成績をあげた方にスポーツ奨励者として、県民に感動を与え又は、本県の発展に貢献された方をスポーツ推進者として表彰するものです。受賞者は以下のとおりです。

スポーツ功労賞（個人）

戸田　光義

永年にわたり、高校サッカーの指導やサッカー協会の理事として県サッカー界の発展に貢献した。

瀧井　修

永年にわたり、レクリエーション活動の普及推進に尽力された。

矢野　治

永年にわたり、宮崎市体育協会の役員を務め、広くスポーツの普及・振興に寄与している。

髙尾　雄平

延岡市ソフトボール協会会長・県副会長として、協会の発展に大きく貢献している。

髙橋　ユキミ

県内におけるミニテニス競技の普及・発展に大きな功績を残している。

藤井　晃治

陸上競技協会マスターズ会長や日南市会長、小中学生の指導などで永年活躍されている。

古木　克浩

永年にわたり、中学校での教科体育及び部活動指導にリーダーシップを発揮した。

和田　キャスリン

県内の空手道普及・振興を図り、競技力向上と優秀な指導者を多数育成している。

松岡　保

県ソフトボール協会の役員として永年にわたり、普及発展、競技力向上に貢献している。

日髙　敏夫

永年にわたり、国富町グラウンド・ゴルフ協会の会長をつとめ、現協会の基礎を確立した。

鬼塚　正博

永年、西都市及び県ミニバレーボール協会の役員として、競技普及のために尽力している。

境田　博之

えびの市のグラウンド・ゴルフ会員を取りまとめ、親睦融和と健康づくりに多大な成果をあげた。

スポーツ功労賞（個人）

筒井　紀夫

都城軟式野球連盟のチーム育成部として、チームの育成、選手の技術向上に努めている。

小田　行男

永年剣道に携わり青少年の健全育成、伝統継承発展に尽力されている。

倉吉　教文

永年にわたり県バレーボール協会に所属し、本県競技の普及・振興に貢献された。

河野　靖弘

山之口地区を中心に、永年にわたり地域スポーツの普及振興に貢献している。

久東　真理子

県体操協会副会長として体操競技をはじめ幅広く本県体育スポーツの振興に貢献している。

林　泉十郎

永年にわたり本県ソフトテニスの競技力の向上と発展に尽力している。

日髙　義廣

山田地区体育協会会長をはじめ、要職を長年にわたり務められた。

立山　慎

少林寺拳法の指導者や都城市スポーツ少年団本部の理事として活躍している。

海老原　郷士

県体操協会副会長として体操競技をはじめ幅広く本県体育スポーツの振興に貢献している。

前田　翔壱

県の体操競技の普及・発展のため、永年、選手育成や大会運営に携わった。

スポーツ功労賞（団体）

◆ 小林市グラウンド・ゴルフ協会

生涯スポーツとして親睦と健康維持を第一に組織活動を展開した。練習会、交歓大会を積極的に開催し、高齢者の仲間づくりに貢献した。

◆ えびの新体操クラブ

永年にわたって活動し、九州小学生大会優勝をはじめ、様々な大会で入賞を果たすなど数多くの実績を残している。

スポーツ優秀賞（個人）

橋口　拓未
富山国際大学　（ボート競技）
第９９回全日本選手権大会兼第４８回全日本大学選手権大会
男子クォドルプル 第３位

樋渡　千歩
武蔵川女子大学（カヌー競技）
第５７回全日本学生カヌースプリント選手権大会
女子カヤックペア200m 優勝
女子シングルリレー 優勝
女子フォア500m 優勝　女子ペア500m 優勝

西條　花菜
関西学院大学（カヌー競技）
第５７回全日本学生カヌースプリント選手権大会
女子カヤックフォア５００m 第３位

原田　雅功
鹿屋体育大学　（カヌー競技）
第５７回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カナディアンペア２００m 第２位

岩元　杏奈
日本体育大学（自転車競技）
第５回全日本学生選手権オムニアム大会　優勝
第９０回全日本自転車競技選手権大会トラック･レース大会　第３位

池下　航和
環太平洋大学（陸上競技）
第３７回U２０日本陸上競技選手権大会
男子２００m　優勝

芳田　花瑚
（サーフィン競技）
第５５回全日本サーフィン選手権大会
ウィメン　優勝

西山　潮音
駒澤大学（ボクシング競技）
２０２１全日本ボクシング選手権大会
男子ライト級　優勝

友草　海太
仙台大学（ボート競技）
第９９回全日本選手権大会兼第４８回全日本大学選手権大会
男子舵手付きフォア 第３位

津田　博翔
大正大学（カヌー競技）
第５７回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カナディアンペア１０００m　優勝
男子カナディアンペア２００m　第３位

後藤　大和
大正大学（カヌー競技）
第５７回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カヤックフォア１０００m 第２位

垣田　恭平
旭化成株式会社（柔道競技）
全日本柔道選手権大会
無差別級　第３位

清山　ちさと
いちご株式会社（陸上競技）
第１０５回日本陸上競技選手権大会
女子１００mH 第２位

木下　裕貴
順天堂大学　（陸上競技）
天皇賜盃　第９０回日本学生陸上競技対校選手権大会
男子４×１００mリレー（第２走者）　第３位

中村　義浩
（サーフィン競技）
第５５回全日本サーフィン選手権大会
グランドマスター 第３位

岩切　久実
宮崎県弓道連盟（弓道競技）
第５４回全日本女子弓道選手権大会（皇后杯）
第２位

スポーツ優秀賞（個人）

小川　翔悟
法政大学（バドミントン競技）
第７２回全日本学生バドミントン選手権大会
男子ダブルス 第３位

スポーツ奨励賞（個人）

福留　洋一
（ゴルフ競技）
第５１回九州シニアゴルフ選手権競技 決勝
優勝

吉野　健太朗
宮崎陸上競技協会（陸上競技）
第７６回九州陸上競技選手権大会
男子ハンマー投げ 優勝

甲斐　達也
東海大学（陸上競技）
第７６回九州陸上競技選手権大会
男子砲丸投 優勝

松田　荘汰
環太平洋大学（陸上競技）
第７６回九州陸上競技選手権大会
男子十種競技 優勝

日本スポーツ少年団・県スポーツ少年団
指導者・単位団表彰

日本スポーツ少年団指導者顕彰表彰状２名、感謝状３名

宮崎県スポーツ少年団功労賞（個人）５名　　宮崎県スポーツ少年団功労賞（団体）４団体

令和４年度日本スポーツ少年団指導者表彰、宮崎県スポーツ少年団指導者・単位団表彰については、多年にわたり本県スポーツ少年団の発展に寄与され、その功績の顕著な方または団体に贈られます。

日本スポーツ少年団指導者顕彰表彰状

江内谷　正美
高城野球
スポーツ少年団
（都城市）

森屋　郁夫
練士館
スポーツ少年団
（宮崎市）

日本スポーツ少年団指導者顕彰感謝状

原田　種英
クラブホークス
スポーツ少年団
（西都市）

湯浅　由雄
宮崎松濤館
スポーツ少年団
（宮崎市）

横山　章司
須木クラブ野球
スポーツ少年団
（小林市）

宮崎県スポーツ少年団指導者表彰

谷岡　潔
木城野球
スポーツ少年団
（木城町）

阿部　政一郎
木城剣道
スポーツ少年団
（木城町）

横山　真一
妻南坂サッカー
スポーツ少年団
（西都市）

平　真樹
高原少女バレーボール
スポーツ少年団
（高原町）

酒匂　政利
広原JVC
スポーツ少年団
（高原町）

宮崎県スポーツ少年団単位団表彰

都城東ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団(都城市)

山之口ゴールデンモンキーズスポーツ少年団(都城市)

西池ジュニア陸上スポーツ少年団(宮崎市)

大久保練心館スポーツ少年団(宮崎市)

本県スポーツ界における暴力行為等の根絶に向けた取組

宮崎県スポーツ指導者協議会「講演会」が行われました。

演　題　「暴言・暴力の根絶のために何ができるか。」

講演者　明治大学　政治経済学部　高峰　修（たかみね　おさむ）教授

プロフィール
１９９２年　横浜国立大学教育学部卒業
２００２年　中京大学大学院体育学研究科博士課程修了
２０１５年　明治大学政治経済学部教授に就任

○専門は、スポーツ社会学、スポーツとジェンダー論などで、スポーツ領域におけるハラスメントや暴力問題の現状と予防対策について研究し、各地での講演活動など幅広く活躍される。

講演のアウトライン（一部抜粋）

1 なぜ暴力・暴言がなくならないのか（許されるのか）

(1)　なくならないスポーツ指導の暴力事件

(2)　暴言・暴力めぐる日本スポーツの特徴

(3)　競技者／指導者間の権力関係を生み出す要因

(4)　暴力・暴言をめぐる負のスパイラル

2 調査結果から見えてくる日本のスポーツ指導の現状

(1)　暴力・暴言調査まとめ（指導者・上級生）

(2)　“不適切なことば”調査まとめ

(3)　ハイレベルの競技者と指導者調査

3 スポーツ指導者の役割とは？

(1)　Jスポ新ガイドラインの特徴
（スポーツをすることは「権利」）

(2)　スポーツを通じて「どんな人材を育てるのか？」

(3)　勝利至上主義の弊害

(4)　“しつけ”“人間形成”“上下関係”の弊害？

4 日本のスポーツの現状

(1)　“楽しみ”や“生涯”につながるスポーツ（指導）を

(2)　“自信”や“満足感”につながるスポーツ（指導）を

(3)　スポーツの価値・再考

(4)　勝つ文化？負ける文化？

(5)　どんな人材を育てるのか？

(6)　変化する“求められる人材像”

5 コーチングスタイルとアンガーマネジメント

(1) コーチングスタイルの一例［多様性］
<コントローラー、アナライザー、プロモーター、サポーター>

(2) アンガーマネジメント

(3) 参考資料　～日本スポーツ協会資料～
①スポーツ指導者のためのガイドライン
②女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブック

6 グループワーク（例）

(1) 大会会場で、他のクラブの指導者が競技者に暴力をふるっているのを見てしまった。どう対応したら良いか。

(2) 試合中に、相手側の指導者が自分が指導している競技者に許容できない言葉をかけてきた。
どう対応したらよいか？

宮崎県競技力向上対策本部事業に関すること

1　宮崎県競技力向上対策本部とは？

対策本部は、第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」）に向けた競技力の向上を図り、大会終了後も更なる本県スポーツの発展に寄与することを目的に設置された、副知事をトップとする組織です。

対策本部は、対策本部会議、強化対策委員会、専門委員会（強化専門委員会、社会人アスリート等確保専門委員会、コンディショニングサポート専門委員会）で構成されています。

2　宮崎県競技力向上対策基本方針に基づく、本協会の県の補助事業

天皇杯獲得を目指し、官民一体となり「宮崎県競技力向上基本計画」（令和元年６月）に基づき、競技力向上に係る事業が、県では積極的に推進されています。本年度（令和４年度）は、競技力の向上を図るため、『１４』の県からの補助事業があり、関係競技団体に予算執行をしました。

⑴　社会人アスリート雇用奨励金交付事業

国民体育大会で活躍が期待される社会人を採用する企業（団体）。ただし、本会からの依頼を受けて職員を採用した企業（団体）に限る。（なお、職員の採用にあたっては、原則、正社員とするが、複数年の契約職員についても可とする。）

⑵　宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト修了生支援費交付事業

宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト修了生のうち、日本代表選手又は、全日本強化指定候補選手（アンダーカテゴリー含む）に選出された場合に支援費を支給する。

ただし、文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会、中央競技団体、中央学校教育団体が主催しているものに限る。

⑶　選手強化補助金交付事業

国民体育大会の競技力向上のための競技団体の強化合宿等の取組を支援する。

⑷　チームみやざき強化アドバイザー招へい事業補助金交付事業

①２０２７年第８１回国民スポーツ大会正式競技の希望する競技団体のうち、原則として過去１０年間の入賞回数の少ない競技（年間３回程度の実施とする。）

⑸　トップチーム活用事業補助金交付事業

優れた競技力を有し国民体育大会での活躍が期待される競技の国体チーム（単独または選抜チーム）

⑹　強化指定選手支援費交付事業

優れた競技力を有しオリンピックやパラリンピック、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会等で活躍が期待される選手で、大会派遣や練習環境等を考慮し支援を必要とする者。

⑺　大学・社会人支援補助金交付事業

国民体育大会や全国障害者スポーツ大会等で活躍が期待される大学・社会人の団体又は個人（以下「団体等」という。）で、支援を必要とするもの。

⑻　女性アスリート支援費交付事業

①ママさんアスリート環境整備支援（国民体育大会等で活躍が期待される女性のアスリートや指導者で、遠征・合宿等の参加に際し保育等の支援を必要とするもの）

②女性アスリート強化指定選手支援（国民体育大会等で入賞に期待がかかる女性アスリート）

③女性アスリートトレーニング・コンディショニング支援（女性特有の課題を解決するために、遠征・合同練習へドクターやトレーナーの派遣等を必要とする国体チーム）

⑼　メンタルコーチ等活用事業補助金交付事業

国民体育大会の競技力向上のために下記の取組を必要とする競技団体

①国民体育大会で活躍が期待できる選手が、自分の力を発揮できるようにするための継続的なメンタルトレーニング等

②選手の力を発揮させるためのメンタルトレーニング等指導者講習会

⑽　海外派遣選手等支援費交付事業

①優れた競技力を有し国民体育大会や全国障害者スポーツ大会で活躍が期待される選手、指導者、審判員等が、中央競技団体から派遣される国際競技大会に参加する場合に、支援費を支給する。

②中央競技団体が派遣する国際競技大会の規模は、原則、アジア大会以上とし、交流、親善目的の大会は対象外。

⑾　ふるさと選手活動支援事業に関する補助金交付事業

①九州ブロック大会、国民体育大会に出場し、活躍が期待されるふるさと選手 等

⑿　国民体育大会リハーサル大会参加に関する補助金交付事業

①国民体育大会で優れた競技力を有し活躍が期待され、次年度国体開催県においてリハーサル大会が実施される競技に対し、別に定める範囲内で補助する。（エントリー数以内、原則、国体選手・候補選手名簿に記載の選手、補助は年度内１回。）

⒀　ターゲットエイジ強化プロジェクト事業に関する補助金交付事業

①2027日本のひなた宮崎国スポ大会で少年種別の主力として活躍が期待されるターゲットエイジ（令和４年４月現在：小学４年生～中学１年生）選手等。

② 合同練習会等に招へいした講師や指導者

⒁　コンディショニングサポート（選手管理システム・トレーナー派遣）事業補助金交付要項

国民体育大会の競技力向上のため、県の選手管理システムを活用し、健康診断、スポーツ障害予防、競技復帰などスポーツ医・科学的分野の多面的なサポートの総合的な支援及び、スポーツメディカル分野に対する強化体制の充実を図るための県内で行う練習会等にトレーナーを派遣するための支援。

令和４年度　事業報告

総　括

公益法人としてより一層の組織体制全般及び事務、事業の推進を図り、加盟団体との連携体制の適正化や事務事業の効率化、競技力向上やタレント発掘事業、スポーツ医・科学事業、総合型地域スポーツクラブ等、各事業の推進において、一定の成果を上げることができた。

（１）会議、委員会、研修会
- 定例理事会を３回、臨時理事会を２回（６月・９月開催した。
- 定時評議員会を１回、臨時評議員会を２回（１１月・３月）開催した。
- 評議員選定委員会を１回開催した。
- 専門委員会
  総務委員会、財務委員会を３回開催した。
  企画委員会、強化・育成委員会を３回開催した。
  普及委員会、表彰委員会及び倫理委員会を３回開催した。
- ４月に加盟団体事務事業説明会を開催した。
- １０月に加盟団体コンプライアンス研修会を開催した。

（２）自主財源確保事業
- 賛助会員募集　法人・企業・団体会員：１４４件、個人会員：６４件
- 協賛広告募集　２２件
- オリジナルシャツ販売　３８７着
- Sports for all 推進費付き自動販売機　４台
- 香典返し　１件

１　競技力向上事業

継続、安定した競技力を目指し、関係機関団体と連携して、事業等の検証、競技団体の組織運営の向上、指導者の育成、県民の理解、支援拡大に取り組んだ結果、各事業で下記のとおりの成果を上げることができた。

（１）選手強化事業
- 競技団体４１団体、個人１１名に事業費の一部を補助した。

（２）ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
- 世界や全国の舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指して、１２５名のアスリート生を対象に、月２回の育成プログラムや専門化を図るためのパスウェイプログラムを実施した。また、県内の小学４年・５年生を対象にオーディションを実施し、男女３９名の第８期生を認定した。

（３）加盟　団体組織整備事業
- 競技団体４１団体に強化対策活動費の一部を補助した結果、競技力向上に向けた組織整備が図られた。

（４）強化推進事業
- 本会と競技団体との協議：１２月から１月にかけて、４１競技団体にヒアリングを実施した。
- チームみやざきミーティング
  第１回：５月１２日、４１競技団体の各種別監督等を対象に、ひなた武道館主道場において「令和４年度国民体育大会に向けた強化策」等について各競技団体がグループワークを行い意見交換した。
  第２回：１１月１５日、４１競技団体の理事長や強化委員長等を対象に、ひなた武道館主道場において、３競技の実践発表を行い意見交換した。
- 国民体育大会強化指定証交付：４１競技団体１，８０７名に交付した。
- 視察、激励、支援要請のため、競技団体、企業、学校等を訪問した。

（５）国体選手育成強化事業
- 大学・社会人スポーツ支援：１３団体、個人２８名を指定して活動費の一部を補助した。

（６）アスリート育成支援プロジェクト事業
- トップチーム活用事業：１５団体を指定して活動費の一部を補助した。１団体辞退した。
- メンタルコーチ等活用事業：１３団体を指定して活動費の一部を補助した。

（７）女性アスリート強化対策事業
- 女性アスリート支援事業：２名のママさんアスリートと国民体育大会女子種目等の選手１５名、団体種目の２競技に対して活動費の一部を補助した。

（８）障がい者アスリート支援事業
- 個人強化選手：３名に活動費の一部を補助した。

（９）チームみやざき強化アドバイザー招へい事業
- ２４競技３０種目を指定して活動費の一部を補助した結果、高い指導力や豊富な指導経験を有する全国トップレベルの指導者を「チームみやざき強化アドバイザー」として招聘し、各競技団体の競技力強化を図ることができた。

(10) ターゲットエイジ強化プロジェクト事業
- ３６競技団体に対して活動費の一部を補助した。

(11) ふるさと選手活動支援
- １５競技団体に対して活動費の一部を補助した。

(12) コンディショニングサポート事業
- ２０競技２１種別にトレーナーを派遣した。

２　国民体育大会派遣事業

帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保を図り、その派遣等を通して試合環境の整備を推進することができた。

（１）国民体育大会九州ブロック大会派遣
- 夏季大会：７月に熊本県他で開催の１０競技に選手、役員等１９４名を派遣した結果、５競技で１８の代表権を獲得した。
- 秋季大会：８月に熊本県で開催の２１競技に選手、役員等６５４名を派遣した結果、１４競技で２０の代表権を獲得した。
- 冬季大会：１２月に熊本県で開催の１競技に選手、役員等３４名を派遣した。

（２）国民体育大会派遣
- 本大会：９月から１０月に栃木県他で開催の３３競技に選手、役員等５２４名を派遣した結果、６競技８種別の団体、１１競技５２種目の個人が入賞し、天皇杯順位３２位という成績を収めた。
- 冬季大会：１月に青森県、２月に秋田県開催の２競技に選手、役員等３４名を派遣した。

（３）コーチ派遣
- 国民体育大会九州ブロック大会：６２名を派遣した。
- 本国体：５４名を派遣した。
- 冬季大会：４名を派遣した。

（４）ドクター、トレーナー派遣
- 国民体育大会九州ブロック大会にトレーナーを４名派遣した。
- 本国体にドクター４名、トレーナーを４名派遣した。
- 冬季大会にトレーナー１名派遣した。

３　みやざき県民総合スポーツ祭事業
- 新型コロナウイルス感染症への感染対策を行い、開催時期、種目、運営方法等を見直すことができた。
- 総合開会式は６月４日木の花ドームで開催し、大会は８市６町６１会場で５月から９月の間、５５競技に１０，９５９名が参加した。

４　スポーツ指導者養成事業

・公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み、地域のスポーツ指導者の取組を支援することができた。
・宮崎県スポーツ指導者協議会理事会を２回開催した。
・スポーツ指導者研修会を２月４日､ひなた武道館大会議室で対面式とオンラインのハイブリッド開催とした。
講演：「暴力・暴言の根絶のために何ができるのか」
講師　高峰　修　氏（明治大学政治経済学部　教授）
講義：「スポーツと栄養」
講師　原口　直樹　氏（宮崎大学医学部附属病院栄養管理部管理栄養士）
・全国スポーツ指導者連絡会議はオンラインで開催した。
・表彰推薦：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰を４名が受賞した。
・スポーツ指導者協議会機関誌「躍動みやざき」（第１１号）を発行した。

５　地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の意識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進することができた。

（１）総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
・今年度までに１７市町村３２クラブとなった。
・クラブ連絡会議を２回、県総合型クラブ連絡協議会を２回、県総合型クラブ運営委員会を２回開催した。
・クラブマネジメントセミナーを実施した。
・クラブ訪問を２２登録クラブに実施した。

（２）生涯スポーツ普及活動支援事業
総合型地域スポーツクラブ５クラブ、生涯スポーツ加盟団体１団体が事業を実施した。

（３）加盟団体組織整備補助
国体競技団体以外の１３競技団体と３学校体育団　体、１５市郡体育・スポーツ協会に補助金を交付した。

（４）第１２回宮崎チャレンジマッチ：７月１７日ひなた陸上競技場において陸上競技を開催し、５１名の県外選手を迎え本県選抜選手４７名が１６種目で実施した。

（５）名義後援、共催
加盟団体等の事業､大会の後援:７４件（大会中止１件）、大会の共催：２件

６　スポーツ医・科学事業

宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー（ＡＴ）養成講習会も１０回目を迎え、２０２７宮崎国スポ・障スポに向けたＡＴの確保、活用を更に推進することができた。
・スポーツ医･科学委員会を３回開催した。
・ドーピング防止研修会：９月と１月の国体結団壮行式で監督、選手等を対象にして２回実施した。
・スポーツ相談：国体結団壮行式の開催に合わせて実施した。
・メディカルチェック:１０月２３日､国体候補選 手（陸上、バドミントン、ウエイトリフティング、ボート、パラスポーツ）の５競技４４名に実施した。
・メディカルチェック報告会：２月２３日に県電ホールにて､４競技（陸上､バドミントン､ウエイトリフティング、ボート）を対象に実施した。
・宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー養成講習会開催:６月から１月にかけて、新規受講者１２名、年５回の講習会を実施した。
・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会に２名派遣し、日本スポーツ協会公認ドクター養成講習会に２名を推薦した。

７　スポーツ顕彰事業

表彰の推薦及び表彰事務が適正、円滑に行われるよう規程等を見直し、整備することができた。
・スポーツ功労賞、優秀賞、奨励賞、推進賞：個人４３名と２団体を表彰した。
・小･中学生を対象にしたスポーツ優秀賞、奨励賞、９団体、延べ４０名の選手、３２名の指導者を表彰･宮崎県スポーツ少年団功労賞は、４団体、個人５名を表彰した。

８　スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び地域のスポーツ団体との連携など課題解決に組織全体で取り組んだ。今年度の登録団数は７０２団、登録団員は１２，０５４名（前年度７２４団、１２，２４５名）、登録指導者は１，６５９名（前年度１，７１０名）で団員、指導者ともに減少傾向であった。

（１）宮崎県中央大会：３年ぶりに実施した。
（２）競技別交流大会・九州ブロック競技別交流大会：宮崎県開催（剣道）は中止
全国スポーツ交流大会（バレーボール・剣道）：中止
（３）スタートコーチ養成講習会：オンラインで開催し２２８名が終了した。
（４）リーダー育成事業
・ジュニアリーダースクール：中止
・九州ブロックスポーツ少年大会：本県の参加者なし
・全国スポーツ少年大会：オンラインでの開催であったが本県から参加なし。
・リーダー会活動：中止

（５）母集団育成研修会､ブロック別研修会､リーダー研修会
・母集団育成事業を４市町が希望したが、２市１町が実施、１町が中止となった。
・初級ジュニアリーダー研修会は希望がなかった。

９　広報及び記録収集、活用事業

本会､加盟団体及び本県スポーツに対する認識向上のため、ＳＮＳの活用などあらゆる機会を利用して情報を発信することができた。

（１）広報
・広報機関誌宮崎スポ協第２２２号の発行：県内関係機関に、３月末に１，７８０部発行した。
・スポーツイベントの周知：年４回、ホームページで掲載した。
・ＨＰ運用：月平均アクセス数３１５，４５２件
・国民体育大会や本会に関わる会議、事業等の様子を即時に情報発信できるようフェイスブックの活用に努めるとともに､ＨＰ上に国民体育大会申込専用ページをリンクさせ、情報発信に努めた。
・広報機関誌やＨＰを利用し、本県スポーツ施設の利用促進のための情報を発信した。

（２）記録収集、活用
・本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集・管理し､ＨＰ等を通して県民に提供した。

10　スポーツ交流事業

日本スポーツ協会の交流事業
・日独スポーツ少年団同時交流と日独スポーツ少年団ユスキャンプはオンライン開催であったが、本県からは参加なし。

令和４年度　公益財団法人宮崎県スポーツ協会役員

区　分	氏　名	役職・所属団体名	区　分	氏　名	役職・所属団体名
会長理事	春山　豪志	株式会社宮崎放送代表取締役	評議員	杉田　藤一	県銃剣道連盟
副会長理事	野﨑　伸一	公益財団法人宮崎市スポーツ協会会長	〃	濵上　紀子	県フェンシング協会
〃	廣田　　彰	宮崎県スポーツ指導者協議会会長	〃	那須　　司	県ボート協会
〃	中馬　光久	宮崎県カヌー協会会長	〃	野村　光秋	県アーチェリー協会
〃	橋口　光雄	宮崎瓦斯株式会社代表取締役会長	〃	橋口　昭彦	県セーリング連盟
専務理事	藤本　　格	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	〃	杉本　敏文	県ホッケー協会
理　事	金川　敏洋	宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	〃	田岡　正和	県空手道連盟
〃	井上　竜志	宮崎市スポーツ推進委員協議会副会長	〃	久保　貴嗣	県スケート協会
〃	小嶋　忠史	宮崎県スポーツ少年団本部長	〃	佐澤　　勲	県スキー連盟
〃	大山　俊郎	宮崎日日新聞社運動部長	〃	佐々木 逸夫	県なぎなた連盟
〃	川野　彰裕	宮崎県スポーツ医・科学委員会委員	〃	宮田　優志	県カヌー協会
〃	富髙　啓順	宮崎県高等学校体育連盟会長	〃	原口　宏史	県ボウリング連盟
〃	串間　敦郎	一般財団法人宮崎陸上競技協会理事長	〃	立山　　慎	県少林寺拳法連盟
〃	平本　　修	宮崎県ソフトボール協会理事長	〃	吉田　詔一	県四半的弓道連盟
〃	秋田　義久	宮崎県テニス協会会長	〃	愛甲　昭彦	県ゲートボール協会
〃	相星　正人	宮崎県バレーボール協会副会長	〃	図師　文明	県アイスホッケー連盟
〃	古賀　義幸	一般財団法人宮崎県水泳連盟評議員	〃	窪田 ひとみ	県ミニバレーボール協会
〃	齊藤　逸郎	宮崎県弓道連盟副会長	〃	菊池　政雄	県グラウンド・ゴルフ協会
〃	西山　瑞恵	宮崎県フェンシング協会理事長	〃	兵頭　三郎	県武術太極拳連盟
〃	藏満　正二	宮崎県ダンススポーツ連盟副会長	〃	倉永　良一	県ゴルフ協会
〃	吉田　建世	一般社団法人延岡市スポーツ協会副会長	〃	浜山　恭光	県トライアスロン連合
〃	安田　昭一	小林市体育協会副会長	〃	福田　紀行	県綱引連盟
〃	江﨑　利郎	串間市体育協会事務局長兼理事長	〃	宮川　泰也	県ミニテニス協会
〃	合田　浩敏	西都市スポーツ推進審議会会長	〃	川畑　太志	ＮＰＯ法人県サーフィン連盟
〃	古川　康二	宮崎県中学校体育連盟会長	〃	大重　陽一	県パークゴルフ協会
監 事	杉村　廣一	公益財団法人宮崎市スポーツ協会専務理事	〃	中武 久美子	県エアロビック連盟
〃	抜屋　博基	元宮崎県県立学校事務長会会長	〃	日髙　正憲	県ダンススポーツ連盟
評議員	湯前　英則	一般財団法人宮崎陸上競技協会	〃	松元　正宏	公益財団法人宮崎市スポーツ協会
〃	圖師　直利	一般財団法人宮崎県水泳連盟	〃	保田　篤則	一般社団法人延岡市スポーツ協会
〃	中馬　義郎	県バレーボール協会	〃	郡山　武弘	一般財団法人都城市スポーツ協会
〃	井料田　豊	県軟式野球連盟	〃	山田　　一	日南市スポーツ協会
〃	當瀬　純一	県ソフトテニス連盟	〃	栗巣野　弘	小林市スポーツ協会
〃	坂元　憲一	県卓球協会	〃	黒木　智美	日向市スポーツ協会
〃	重信　和行	県弓道連盟	〃	岡留　　浩	串間市スポーツ協会
〃	石田　喜克	県ラグビーフットボール協会	〃	馬渡　和利	西都市スポーツ協会
〃	日髙　博之	一般社団法人宮崎県サッカー協会	〃	小園 栄一郎	えびの市スポーツ会
〃	米田　史彦	一般社団法人宮崎県バスケットボール協会	〃	黒木　宏樹	児湯郡スポーツ協会
〃	矢野　賢悟	県柔道連盟	〃	甲斐　哲也	西臼杵郡スポーツ協会
〃	矢野　節男	県剣道連盟	〃	松田　雄二	東臼杵郡体育協会
〃	土井　祐二	県相撲連盟	〃	桑畑　則幸	北諸県郡スポーツ協会
〃	久東 真理子	県体操協会	〃	田上　則昭	西諸県郡スポーツ協会
〃	斎藤　昭年	県馬術連盟	〃	日髙　君彌	東諸県郡体育協会
〃	日髙　誠紀	県クレー射撃協会	〃	黒木　章宏	県高等学校体育連盟
〃	新原　祐治	県山岳・スポーツクライミング連盟	〃	兒玉　正剛	県高等学校野球連盟
〃	押川　尚生	県ソフトボール協会	〃	島田　亮介	県中学校体育連盟
〃	松岡　弘高	県バドミントン協会	〃	和田　保典	県小学校体育連盟
〃	小山　武男	県テニス協会	〃	内村　仁子	県レクリエーション協会
〃	内之倉 和彦	県ウエイトリフティング協会	〃	福嶋　幸徳	県障がい者スポーツ協会
〃	末廣　芳文	県ハンドボール協会	〃	帖佐　悦男	宮崎県スポーツ医・科学委員会
〃	末吉　龍孝	県自転車競技連盟	〃	山元　高光	公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会
〃	渕ノ上 文也	県レスリング協会	〃	篠原　俊尚	公益財団法人宮崎県観光協会
〃	吉田　幸夫	県ライフル射撃協会	〃	興梠　　晃	県スポーツ推進委員協議会
〃	岡　　俊彦	県ボクシング連盟			

「私たちは宮崎のスポーツを応援します」

《ご協力ありがとうございます》

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進にご協力いただいております個人･団体･企業の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、２０２７年に開催予定の第８１回国民スポーツ大会並びに第26回全国障害者スポーツ大会成功のため、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本会は、税制上の「特定公益増進法人」に該当しますので、本会賛助会へ加入いただいた場合寄付金控除の優遇措置を受けることができます。

（令和４年４月１日から令和５年１月３１日現在　敬称略）

Ⅰ　法人･企業･団体会員（144件　312口）

ＪＴＢ協定タクシー連盟宮崎会
江坂設備株式会社
株式会社テクノミックス
株式会社宮崎新生社印刷
大塚製薬株式会社宮崎出張所
大淀開発株式会社
株式会社デンサン
学校法人旭進学園宮崎第一中学高等学校
株式会社ニチワ
株式会社メイトーテック
株式会社ニッショー
ＳＩＳビジョン株式会社
学校法人順正学園九州保健福祉大学
株式会社夕刊デイリー新聞社
アイワ工業株式会社
株式会社明光社
株式会社ＡＡＯ
旭化成株式会社延岡支社
株式会社ａｍｓ
株式会社ヒロマエAZ
Ｍスポーツ整形外科クリニック
画廊　Art２０１３
株式会社宮崎放送
旭建設株式会社
株式会社ほっかほっか亭宮崎地区本部
北一株式会社
株式会社南日本ネットワーク
株式会社エムアールティ･ミック
株式会社ホテルマリックス
株式会社共立電機製作所
一般財団法人宮崎県水泳連盟
協同紙工株式会社
株式会社幸和
株式会社宮交シティ
京屋酒造有限会社
一般財団法人宮崎陸上競技協会
株式会社ヨシダや
霧島酒造株式会社
一般社団法人宮崎県サッカー協会
株式会社坂下組
黒木歯科医院
株式会社志多組
株式会社宮崎太陽銀行
公益財団法人宮崎県観光協会
医療法人慶明会おび中央病院
株式会社タカヒラ
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会
株式会社児湯食鳥
アリストンホテル宮崎
株式会社ニューウェルシティ宮崎
一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
株式会社テレビ宮崎
株式会社宮崎山形屋
株式会社ＡＶＣ放送開発
キューキ工業株式会社
一般財団法人みやぎん経済研究所
株式会社宮崎銀行
ＪＴＢ協定旅館ホテル連盟宮崎支部
ＭＬＴ株式会社
株式会社宮崎ツアーサービス
医療法人建悠会吉田病院
公益社団法人宮崎県柔道整復師会
合資会社小川屋
合資会社シビルプランニング
興和商事株式会社
清本鐵工株式会社
大星電機株式会社
高鍋信用金庫
特定非営利活動法人宮崎県サーフィン連盟
野崎漬物株式会社
フェニックスリゾート株式会社
弁護士法人衛藤法律特許事務所
松田商事株式会社
南日本酪農協同株式会社
宮銀カード株式会社
宮銀デジタルソリューションズ株式会社
宮銀ビジネスサービス株式会社
宮銀保証株式会社
宮銀リース株式会社
宮崎ガス株式会社
宮崎空港ビル株式会社
宮崎ケーブルテレビ株式会社
宮崎県アイスホッケー連盟
宮崎県青島青少年自然の家
宮崎県運動具商協同組合
宮崎県弓道連盟
宮崎県グラウンド･ゴルフ協会
宮崎県ゲートボール協会
宮崎県高等学校体育連盟
宮崎県高等学校野球連盟
宮崎県柔道連盟
宮崎県スイミングクラブ協議会
宮崎県スケート連盟
宮崎県卓球協会
宮崎県中学校体育連盟
宮崎県なぎなた連盟
宮崎県軟式野球連盟
宮崎県馬術連盟
宮崎県バレーボール協会
宮崎県ハンドボール協会
宮崎県武術太極拳連盟
宮崎県ボウリング連盟
宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
宮崎県遊技業協同組合
宮崎県レスリング協会
宮崎交通株式会社
宮崎酸素株式会社
宮崎紙工印刷株式会社
宮崎第一信用金庫
宮崎日産自動車株式会社
宮崎ひむかライオンズクラブ
民宿美波
名鉄観光サービス株式会社宮崎支店
大和プランニング
有限会社アーキコスモ
有限会社いろは企画
有限会社かわにしスポーツ
有限会社郡山板金工業所
有限会社創和
有限会社橋本商会
有限会社マイルストーン
雲海酒造株式会社
延岡信用金庫
学校法人宮崎総合学院
株式会社ＪＴＢ宮崎支店
株式会社Ｍｉｌｋ　Ｌａｂ.
株式会社青島グランドホテル
株式会社コム光成
株式会社宮崎日日新聞社
株式会社宮崎観光ホテル
株式会社興電舎
株式会社黒木本店
丸山物産株式会社ホテルクレイン橘
宮銀ベンチャーキャピタル株式会社
宮崎カーフェリー株式会社
宮崎ヤクルト販売株式会社
宮崎液化ガス株式会社
宮崎県ソフトボール協会
宮崎県テニス協会
宮崎県ボクシング連盟
宮崎県銃剣道連盟
神崎建設工業株式会社
米良電機産業株式会社
他　匿名希望1社

Ⅱ　個人会員（64件　89口）

相星　正人	鎌田　伸次	児玉　　剛	谷口　行孝	丹生　進一	古木　克浩	黒葛原朱美	日髙　　巽
秋田　義久	上江田安博	坂口　和隆	田村　　司	萩尾　英司	三浦　徹也	財津　吉長	入倉　俊一
朝比奈紀行	河内　徳康	佐多　裕之	長友　寧雄	橋田　和実	水迫　　勇	松本　守人	尾形　洋子
古川　康二	川﨑　重雄	塩月　光夫	寺園　圀順	原口　宏史	宮田　育俊	上杉　聡視	米丸麻貴生
岩切　正義	川添　健一	鹿島庄一郎	土井　智喜	斉藤　重保	森　　隆茂	植松　義文	和田　保典
尾﨑　太朗	河野　　順	重信　和行	中川　義行	平本　　修	横山　　博	巣立　勝弘	他　匿名希望3名
押川　尚生	木宮　浩二	新木　るり	中村　正親	廣田　　彰	若林　繁幸	東長　達也	
片山　真貴	甲斐　藤昭	菅　　薫	中村　嫁苗	藤居　奈歩	原田　種英	得能　　剛	

Ⅲ　香典返し（1件）

尾﨑　勝博

Ⅳ　「Sport　for　all」推進費付き自動販売機設置（4台）

グランデ大島　　ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝｼｮｯﾌﾟIBS　　株式会社デンサン

旭化成は、1990年以来、九州・延岡市とともに陸上大会を開いています。

大会の名は「ゴールデンゲームズ in のべおか」。

いちばんの特長は、地元の子どもから

世界のトップアスリートまで参加することです。

憧れの選手の汗を、間近で見る。

一流選手の走りに、圧倒される。

私たちは子どもたちに、そんな経験をしてもらいたいのです。

未来はいつだって、子どもたちの中にある。

私たちはこれからも、その可能性をひらく活動を

つづけてゆこうと思います。

昨日まで世界になかったものを。

AsahiKASEI

MRT MiCC パーティープラン

お一人様 5,000円プラン

お食事 8～9種

瓶ビール（お一人様１本）、焼酎
ウイスキー、ハイボール、ウーロン茶
オレンジ、コーラ　※2時間飲み放題（瓶ビールを除く）

お一人様 6,000円プラン

お食事 10～11種

瓶ビール、ノンアルコールビール、焼酎
ウイスキー、ハイボール、ウーロン茶
オレンジ、コーラ、ワイン、日本酒　※2時間飲み放題

※飲食料・会場使用料・音響使用料・サービス料・税込

〇上記プランは2時間制となります。2時間を超える場合は超過料金が発生します。
〇プラン内容によっては音響･照明のオペレーター費が別途かかる場合がございます。
※上記につきましては、予め担当者へご相談ください

〇お食事は和洋中折り交ぜたオリジナルメニューになります。
〇看板、垂れ幕などの制作も承ります。

学生＋保護者向け パーティープラン

（謝恩会・祝賀会・卒部式など）

2時間プラン

大　人	4,500 円
高校生	3,500 円
中学生	3,000 円
小学生	2,500 円

3時間プラン

大　人	5,000 円
高校生	4,000 円
中学生	3,500 円
小学生	3,000 円

※飲食料・会場使用料・音響使用料・サービス料・税込

〇大人の方（保護者・先生など）のご参加は 20 名様以上でお願いいたします。
〇上記プランは各会の開始から終了までのお時間となります。
〇終了時間から 30 分以上超過した場合、お一人様 500 円の追加料金が発生します。
※上記につきまして、予め担当者へご相談ください。

▲ダイヤモンドホール　円卓 最大 300 名様収容

▲エメラルドホール　円卓 最大 80 名様収容

MRT MiCC

◆SHOPPING FLOOR 10:30 ～ 19:30（日曜日 10:30 ～ 19:00、月曜日が休日の場合 19:00 まで）
◆MRT PARKING　7:00 ～ 深夜 1:00
◆EVENT HALL 大小５つのイベントホールをご用意しております。　詳細はこちら▶

無印良品

生活者や生産者に配慮した商品・サービスを、無印良品として具体化することで、世界の人々に「感じ良いくらし」を提案しています。

MINIPLA

キレイを応援するコスメや、毎日を彩るトキメキの雑貨があふれる
PLAZA のトレンドがぎゅっと詰まったライフスタイルストア。話題の旬な雑貨をお届けします。

タマチャンショップ

美容粉末「美粉屋」をはじめ、「ミックスナッツ」、「ドライフルーツ」、「タマ食コスメ」など、内側＆外側からキレイと元気をサポートする人気商品が豊富にラインナップ。
自分だけの「しあわせ食」を探してみませんか？

MRT MiCC
880-0001 宮崎市橘通西4丁目6番3号
□TEL 0985-22-1111　□URL http://www.mrt-micc.co.jp

運航ダイヤ

宮崎発19:10　▶　神戸着翌7:30
神戸発19:10（日曜18:00）　▶　宮崎着翌8:40

お問合せ先

宮崎カーフェリー株式会社
旅客業務部　TEL:0985-29-8077

海のひなたへ。
宮崎カーフェリー株式会社
Miyazaki Car Ferry

“夢に逢いに行こう”
夢に逢いに行こう
笑顔 人から人へ
夢に逢いに行こう
街は 明日も元気さ
夢に逢いに行こう
笑顔の生まれる 街へ
あなたといっしょなら
夢はきっと かなうさ
宮崎銀行
あなたの「夢」応援歌♪
みやぎんイメージソング♪
「夢に逢いに行こう」
ホームページでフルコーラスをお聴き頂けます。※音声のみ
ユメニくん
アイニちゃん
簡単・便利な
「みやぎんアプリ」誕生
詳しくはこちら
明日の夢 人から人へ
宮崎銀行

笑顔満開
宝物みたいな毎日を全ての生徒たちに！
宮崎第一中学校

応援してくれる人がたくさんいる！
おせっかいな学校
親身な指導で夢の実現をサポート
宮崎第一高等学校

PROFILE

中嶋 梨香子 Nakajima Rikako

（宮崎県小林市出身）

2013年～宮崎県立小林高等学校　2016年～日本体育大学　2020年～MRT宮崎放送

中学時代は陸上部。高校進学後、ウエイトリフティングを始める。
宮崎県高校総体58kg級で優勝。日本体育大学に進み、4年生の時、全日本女子選抜選手権で準優勝。
地元宮崎のMRT宮崎放送で勤務しながら、国民スポーツ大会や全日本選手権での優勝を目指しています。

mrt宮崎放送

mrtスポーツ応援プロジェクト
mrt SPORTS
ROAD TO 2027

2027年、宮崎県では2巡目の国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が開催されます。
天皇杯・皇后杯の獲得に向けて、頑張るアスリートを一緒に応援しましょう！

Sports radio
CHEERS!
毎週日曜日　あさ7:30～7:45　O.A.
県内外で活躍するアスリートや指導者などをゲストに迎え、
貴重なトークや思い出の一曲をお届けします。

mrtアプリ
スポーツ情報配信中！
ダウンロードは
こちらから

宮崎県知事（般-28）第4724号

有限会社

郡山板金工業所

代表取締役社長　郡 山 信 行

事務所　宮崎市祇園3丁目7番地
TEL 0985-24-3500
FAX 0985-24-3500
工 場　宮崎市祇園3丁目86-1
TEL 0985-29-5323

宮崎県立大宮高校体育館
屋根工事施工
2004年　新設

屋根工事専門業者

宮崎市防災協力事業所
MIYAZAKI CITY
当事業所は、防災協力事業所として、
地域の安全と安心を守ることに協力します。
登録番号：
登録年月日：

MSG大原カレッジリーグ

学校法人 宮崎総合学院　文部科学省「職業実践専門課程」認定学科設置校

- 宮崎情報ビジネス医療専門学校
- 大原簿記公務員専門学校 宮崎校
- 宮崎福祉医療カレッジ
- 宮崎ペットワールド専門学校
- 宮崎サザンビューティ専門学校
- 小林看護医療専門学校

クラーク記念国際高等学校連携校 宮崎キャンパス

学校法人 九州総合学院　文部科学省「職業実践専門課程」認定学科設置校

- 九州医学技術専門学校
- 九州工科自動車専門学校
- 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校

指定管理事業部

宮崎県青島青少年自然の家　宮崎県むかばき青少年自然の家　宮崎県御池青少年自然の家　宮崎県建設技術センター・宮崎県産業開発青年隊
宮崎市民文化ホール　宮崎市生目の杜運動公園　県立農業大学校農業総合研修センター・宮崎県農業科学公園　鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター

キッズ教育サービス

学校法人平和台学園いずみ幼稚園　企業主導型保育所わくわく保育園
独立行政法人国立病院機構院内保育所〔宮崎東病院ころころ保育園・宮崎病院わかば保育所・都城医療センターのぞみ保育園〕

社会福祉法人　つよし会
つよし学園・つよし寮・つよし共働センター　株式会社九州コミュニティーカレッジ　株式会社川越本店　川越株式会社

ホームページへアクセス！
https://www.msg.ac.jp
MSG 大原カレッジリーグ　検索

〒880-0802 宮崎市別府町４番１９号
Tel.0985-22-0658

2021年度 優 国土交通省
工事成績優秀企業 九州地方整備局

グッドカンパニー大賞

地域未来牽引企業

HumanTechnology
キヨモト 清本鐵工株式会社
代表取締役社長　清本 邦夫

本　　社　宮崎県延岡市土々呂町6丁目1633番地
TEL 0982-24-1111　http://www.kiyomoto.co.jp

東京支社　東京都台東区東上野1-11-4 ザイマックス東上野ビル3階
TEL 03-4235-3153

福岡支社　福岡県福岡市博多区綱場町1番1号 D-LIFEPLACE呉服町4階
TEL 092-763-7522

東武トップツアーズは、ラグビーワールドカップフランス2023の公式旅行代理店です。

東武トップツアーズ株式会社　宮崎支店
〒880-0805 宮崎市橘通東 3-1-47 宮崎プレジデントビル 4 F　TEL 0985-25-6111　FAX 0985-29-3010

私たち南日本ネットワークは宮崎のスポーツを全力で応援します！！

私達は、ICT で社会や生活を便利に豊かにしていくことを目指します。

ICTで未来をつなぎ、
ネットワークで心をつなぐ MNC

株式会社　南日本ネットワーク

宮崎県宮崎市橘通東 3 丁目 6 番 29 号
TEL 0985-22-5091　FAX 0985-29-7787
URL https://www.si-mnc.jp/

ICT に関するお困りごとを全力でサポートいたします。

赤い風船
MACH マッハ
Best ベスト
Best Excellent ベストエクセレント

Quality First

日本旅行は体育・スポーツの普及発展を応援しています

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

おかげさまで日本旅行は　創業117周年

株式会社日本旅行　宮崎支店
〒880-0812　宮崎市高千穂通1-6-35　住友生命ﾋﾞﾙ1F
TEL:0985－24－5255　FAX:0985－24－9162
営業時間　月～金 09:30～16:30　土日祝休み

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

元気な未来と
健やかな地球を
子どもたちへ

Mera Group Corporation
米良企業グループ

米良電機産業株式会社　さくら電機産業株式会社　株式会社くまもと電設資材　株式会社共立電機製作所　株式会社共立電照

〒880-0802 宮崎市別府町4番33号　TEL 0985-24-6855　FAX 0985-25-6615　URL http://www.mera-denki.co.jp　営業所／宮崎・宮崎西・高鍋・日南・高千穂・延岡・日向・都城・霧島・志布志・垂水・鹿児島・入吉

流れを変えろ
宮崎の総合広告代理店
株式会社 AVC放送開発
〒880-0925 宮崎県宮崎市本郷北方2753-5
TEL 0985-51-9703 FAX 0985-53-8922
https://www.avc-hk.co.jp/

あなたの大切な本を再生します。
印刷屋
記憶から記録へ・・・。
LINE
印刷のよろず屋
有限会社いろは企画
〒889-1603 宮崎市清武町正手3丁目19-2
TEL.0985-85-5889 ／ FAX.0985-55-0888
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
本

第８１回国民スポーツ大会

第２６回全国障害者スポーツ大会

みんなの力で成功させよう

宮崎県ソフトボール協会

名誉会長　中邑　芳邦
会　長　　押川　尚生
副会長　　高尾　雄平　松岡　保　森　太
理事長　　平本　修
事務局長　永野　通夫

宮崎駅から徒歩3分　緑あふれる文化の森のホテル

宮崎ガスグループ

New Wel City

ホテル ニューウェルシティ宮崎

ウェディング・会議・宴会・宿泊・レストラン

880-0879 宮崎市宮崎駅東1丁目2-8　TEL. 0985-23-3311

結婚した友人へのプレゼントに！　大好きなペットのベストショットを！　かわいいお子様の成長記録に！

LINEで簡単注文
オリジナルカレンダー

大切な記念日

1セット（カラー印刷）　1,650円（税込）　送料は別途(370円)

LINEの追加はこちらから！
LINE ID @457tmttg

子どもの成長記録

オリジナルカレンダー特設サイトはこちら
・月別カレンダーデザインの記載
・LINEの追加から納品までを説明
・写真の入稿方法 QRコードをチェック！

※実物はカラー印刷になります。

宮崎紙工印刷株式会社
MIYAZAKI-SHIKOU-PRINTING CO.,LTD
〒880-0912 宮崎市大字赤江字飛江田931番地
TEL (0985)78-2324
https://www.m-shikou.net 宮崎紙工印刷 検索

弁当はお任せください

地元ならではの材料で作る美味しい手作り弁当はいかがでしょうか！大会前日までにご予約いただいた方にはさらにサービスいたします。

手作り弁当
マロ

県総合運動公園前
TEL 0985-58-0785
FAX 0985-58-1252

私たちは宮崎のスポーツを
応援します
日本体育大学宮崎県同窓会

ご連絡とお問合せは
〒887-0102　日南市大字富土４１２１
電　話 ０９０－７５３１－１６１４
山口　冨美香　気付

日本体育大学宮崎県同窓会会長　　長 友 寧 雄

宮崎県知事許可 般-3 第11553号
宮崎県屋外広告業登録　第53号

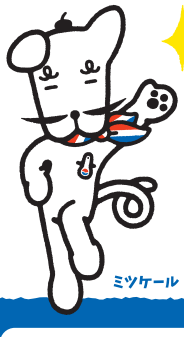
TOTAL SIGN PLANNING
SOUWA

有限会社 創　和

宮崎市高岡町下倉永260-1
TEL (0985) 62-6020　FAX (0985) 62-6030

愛知・岐阜・三重県下103拠点に信頼のネットワークを展開!!

お部屋探しは「いい部屋発見!!」のニッショーにおまかせください。



国土交通大臣免許（13）第2018号

株式会社ニッショー

〒462-8501 名古屋市北区城見通2丁目10番地1　TEL：052-912-1001（大代表）

グループ代表　加治佐 健二（宮崎県えびの市出身）

株式会社ニッショーホールディングス　https://www.nissho-apn.co.jp　ニッショー　検索

株式会社ニッショー.JP
- ◆賃貸検索サイトによる物件情報発信・運営・管理
- ◆Webサイトを中心としたマーケティング業務

株式会社ニッショーライフ
- ◆分譲マンション・オフィスビル管理
- ◆昇降機・消防設備の保守および法定点検

株式会社リアルエスト
- ◆賃貸住宅の一括借上　◆不動産利用に関する企画

株式会社ニッショー住販
- ◆宅地建物の販売および仲介
- ◆不動産の活用に関するコンサルティングおよび企画・設計

株式会社レグリオ
- ◆家賃債務保証業務　◆賃貸管理業務

株式会社セイワ
- ◆建物内外の保守管理・清掃業務　◆建築物の営繕工事

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

4名以上の団体・グループでご加入ください。

保険期間

令和5年4月1日午前0時から
令和6年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金（1人当たり）
子ども※（中学生以下）	スポーツ活動 文化活動　ボランティア活動　地域活動	A1	800円
大人（高校生以上）	スポーツ活動（指導・審判を含む） ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動　ボランティア活動　地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ（指導・審判を含む）	D	11,000円
子ども※（中学生以下）	（個人活動補償型）ワイドコース　A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人（高校生以上）	C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。　年間掛金には、制度運営費（10円）が含まれます。
（注）C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。

スポあんネット

パソコン・スマホで
だれでも、かんたん
便利に使いやすい！

公益財団法人 スポーツ安全協会

スポーツ安全保険　検索

LINE 公式アカウント

友だち募集中！

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
0120-233-801
（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（令和5年4月予定）〉
あいおいニッセイ同和　共栄火災　損保ジャパン　大同火災　東京海上日動　日新火災　三井住友海上　AIG損保

令和4年12月作成　22TC-100081

『チームみやざき応援グッズ』
みやざき犬ポロシャツ・Tシャツの販売について

ポロシャツ

Tシャツ

〔首後〕

〔右袖〕

〔左胸〕

〔前〕

〔後〕

【　ポロシャツ(4色)　】
・ピンク　・ブラック　・ホワイト　・ネイビー

【　T シャツ(4色)　】
・ピンク　・ブラック　・ホワイト　・ネイビー

【　サイズ　】
XS　・　S　・　M　・　L　・　XL　・　2XL
3XL　・　4XL　・　5XL　・　6XL　・　7XL
（※ピンクについては、XS～4XL）

・本協会HP専用リンクから注文書をダウンロードし、本協会事務局へFAXでご注文ください。
・ポロシャツ及び T シャツは、国民体育大会（国民スポーツ大会）、全国障がい者スポーツ大会における本県準ユニホームとしても活用しています。

編集後記

まずは、本協会における今年度全ての事業が無事に終了しましたことを御報告申し上げますとともに、本協会の各種事業等の推進に対しまして、関係の方々からの御支援、御協力をいただきましたことに衷心より感謝申し上げます。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、本協会が計画しておりました様々なスポーツイベントや会議等の一部を中止せざるを得ない状況になり、大変残念な思いをしておりました。

しかしそのような中、第42回熊本九州ブロック国体、第77回とちぎ国体が３年振りに開催されました。練習環境などが厳しい状況にもかかわらず、宮崎県選手団は最後まで熱い思いと強い結束力で戦っていただき、前大会茨城国体の天皇杯順位41位を大きく上回る32位という成績を残していただきました。選手団をはじめ関係各位の皆様の絶え間ないご努力に、心から感謝申し上げます。

また、「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」は７年目が終わろうとしており、これまで１０１名の修了生を送り出してまいりました。修了生は、全国大会での入賞や年代別日本代表への選出など、少しずつではありますが、全国的な活躍が見られるようになってまいりました。育成プログラムが一部中止となる中、現アスリート生も、実施したプログラムを精一杯楽しみ、新しい学びを得ながら躍動しております。この事業は、多くの競技団体をはじめとする関係機関の多大なる御協力により、質の高いプログラムを提供することができております。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、広報誌「宮崎スポ協２２２号」を発刊いたします。御多用の中、寄稿・写真提供をしていただいた全ての方々に心からお礼を申し上げます。

結びに、本協会は今後も、宮崎県スポーツの発展のために、誠心誠意、努力してまいりますので、今後とも温かい御支援・御鞭撻を心よりお願い申し上げ、編集後記とさせていただきます。

◆事務局

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
〒889-2151　宮崎市大字熊野字島山1443-12
ひなた宮崎県総合運動公園受付・案内所２Ｆ
TEL 0985-58-5633　　FAX 0985-58-5630
E-mail / miyazakiken@japan-sports.or.jp

◆発行所

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
編集発行人　　藤本　　格

◆表紙写真

第７７回国民体育大会

宮崎スポ協
Vol.222 令和5年3月発行

発行所 宮崎市大字熊野字島山1443-12
TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630 E-mail:miyazakiken@japan-sports.or.jp
公益財団法人宮崎県スポーツ協会 編集発行人 藤本 格

すべての
スポーツに
エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

くじを買うはエールになる

スポーツくじ WINNER SOCCER・BASKETBALL toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN BIG

19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター